

ノートパソコン ハードウェアユーザーマニュアル



もくじ

1. ノートパソコンの概要

本マニュアルについて	5
本マニュアルの表記について	5
ノートパソコンを準備する	8

2. 各部の名称と説明

上面	10
底面	13
左側	15
右側	16
背面	17
前面	18

3. 使用の手引き

パワーシステム	20
ACアダプタを使用する	20
バッテリーパックを使用する	21
バッテリーの取り扱い方	21
電源をONにする	22
パワーオンセルフテスト (POST)	22
バッテリーの残量の確認	23
バッテリーパックを充電する	23
再起動	24
電源をオフにする	24
電源管理	25
熱パワーコントロール	25
キーボードを使用する	26
ホットキー	26
Microsoft Windows キー	28
キーボードを数値キーパッドとして使う	28
キーボードをカーソルとして使う	28
ボタン、スイッチとステータスインジケータ	29
ボタン、スイッチ	29
ステータスインジケータ	30

もくじ(続き)

4. ノートパソコンを使用する

ポインティングデバイス.....	32
タッチパッドを使用する.....	32
タッチパッドの使い方.....	33
タッチパッドのお手入れ.....	34
記憶装置.....	35
光学ドライブ(外付け:オプション).....	35
フラッシュメモリカードリーダー.....	37
ハードディスクドライブ.....	38
接続.....	39
ネットワーク接続.....	39
無線LAN接続(特定モデルのみ).....	40
Windows 無線ネットワーク接続.....	41
Bluetooth無線接続(特定モデルのみ).....	42

付録

Power4 Gear Turbo.....	44
Bluetooth のセットアップA(オプション).....	45
セットアップA(続き).....	46
Bluetooth のセットアップB(オプション).....	47
OSとソフトウェア.....	49
サポートするソフトウェア.....	49
システムBIOS設定.....	49
よく聞かれる問題と解決方法.....	52
Windows® XP™ リカバリーソフトウェア(オプション) (Windows® XP™ Home/Professional Editions).....	54
Declarations and Safety.....	56
オーナー情報.....	66

1. ノートパソコンの概要

本マニュアルについて

本マニュアルの表記について

安全上の注意

ノートパソコンを準備する



注意: 本マニュアルに記載の写真やアイコンは参照用で、実際と異なる場合もあります。ご了承ください。

本マニュアルについて

本書は、本機のユーザーマニュアルです。本書では本機の構成部品の説明やその使い方について説明します。本書は以下の章から構成されています。



1. ノートパソコンの概要

本機と本ユーザーマニュアルの概要です。

2. 各部の名称と説明

本機の構成部品について解説します。

3. 使用の手引き

本機を最初にお使いになる時に必要な情報です。

4. ノートパソコンを使用する

本機の各機能の使い方です。

付録

オプションの紹介と参考資料です。

本マニュアルの表記について

注意事項等は重要性によって以下のように区別されています。



注:作業を完了するために必要な追加情報です。



ヒント:作業の参考になるヒントです。



重要:本体の破損、データの消失および人体への障害を防止するために必ず行わなければならない事項です。



警告:本体の破損、データの消失および人体への障害を防止するための情報です。

<> キーボードのキーは<>を、選択項目は[]や「」で囲んで表記し、()は補足説明に用いています。
[] キーボード入力の際、これらの表記括弧は必要ありません。

安全上の注意

本機を未長くお使いいただくために以下の注意事項を守ってください。本マニュアルに記載されていない事項については、技術者等にご相談ください。損傷のある電源コードや周辺機器を使用しないでください。本体のお手入れに、シンナー・ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。



重要: 本機のお手入れの際は、電源を切りAC電源アダプタとバッテリーパックを取り外してください。清潔なスポンジまたは柔らかい布に研磨材の含まれていない洗剤を温水で薄めたものを数滴含ませ、汚れを拭き取ってください。最後に乾いた布を使って余分な水分を完全に除去してください。



禁止: 平らでない、不安定な場所に置かないでください。筐体を破損した場合には、代理店にご連絡ください。



禁止: 上に物を置いたり落としたりしないでください。内部に異物が入らないようにしてください。



禁止: ディスプレイを強く押したり、パネルを傷つけたり本体に入り込むような物とは一緒にしたりしないでください。



禁止: 強い磁気を近づけないでください。



禁止: ホコリや汚れの多い環境下に置かないでください。ガス漏れの恐れがある場所で使用しないでください。



禁止: 液体・雨・湿気を避けてください。雷の発生時はモデムを使用しないでください。



禁止: 本機の使用中は、底面が熱くなります。ひざの上など人体に長時間接触させて使用すると火傷を負う恐れがあります。



バッテリーの管理:
火中に投げないでください。
回路をショートさせないでください。
分解しないでください。



禁止: 本機は 10°~35°の周辺温度でご使用ください。



入力定格: 本機の底部に記載があります。電源アダプタが対応していることを確認してください。



禁止: 本機の電源がONの状態を持ち運んだり、キャリーバッグの中に入れてたりしないでください。通気が妨げられ、故障の原因となります。



リサイクル: 本製品のコンポーネントの中にはリサイクルできるよう設計されているものがあります。なお、本製品は水銀ボタン電池を含む電子機器です。本製品を一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。



禁止: バッテリーを一般ゴミとして廃棄しないでください。廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

運搬時の注意

本機を持ち運ぶ場合は電源をOFFにし、ディスプレイパネルを閉じてください。また電源をOFFにした後、**すべての外部周辺機器を取り外してください**。電源がOFFになるとハードディスクの表面を守るため、ハードディスクドライブのヘッドが戻ります。本機を移動するときは、必ず電源をOFFにしてください。キーボードやディスプレイを保護するため、ディスプレイパネルが閉じていることを確認してください。



重要:ノートパソコン本体の表面の「ツヤ」は、正しく扱わないと失われてしまいます。本体表面をこすったりひっかいたりしないように注意してください。



ノートパソコンのケース

本機を汚れ・水・衝撃・傷から保護するために、携帯用ケースの使用をお勧めします（ケースは別売りの場合もあります）。



バッテリーの充電

ACアダプタが本機とコンセントに接続されていれば、バッテリーは自動的に充電されます。本機の電源がONの場合は充電時間は長くなります。



航空機内での使用について

航空機内での本機の使用については、各航空会社にお問い合わせください。多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。一般的に離着陸時の電子機器の使用は禁止されています。



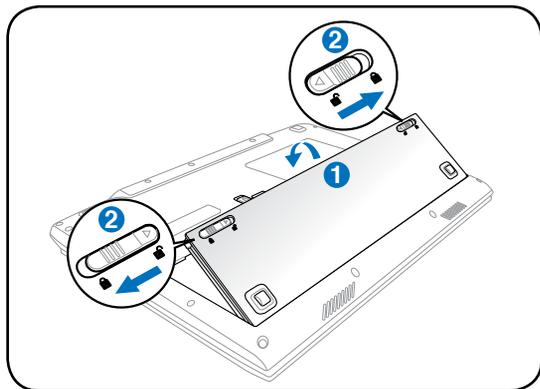
重要:空港のセキュリティ装置には3つのタイプがあります。X線装置（荷物用）、磁気センサ（セキュリティゲートを通過する人間用）、および磁気ワンド（人間や小物用の短い棒）です。ノートパソコンやハードディスクをX線装置に通すことは問題ありませんが、磁気センサや、磁気ワンドは避けてください。

1 ノートパソコンの概要

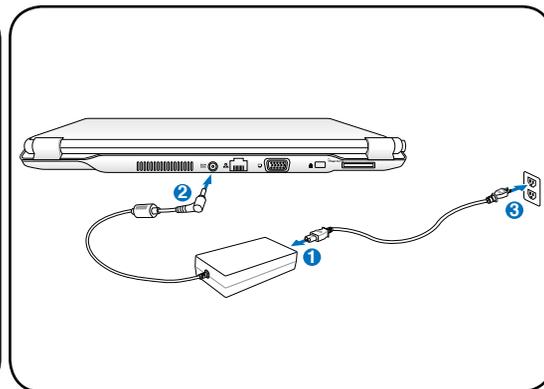
ノートパソコンを準備する

ノートパソコンの基本的な取り扱い方の説明です。

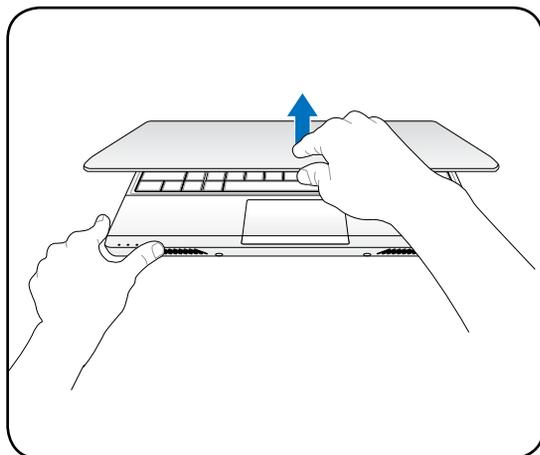
1. バッテリーパックの取り付け



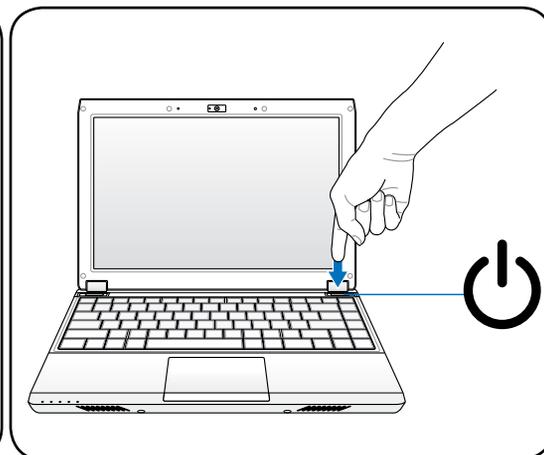
2. AC電源アダプタの接続



3. ディスプレイを開く



4. 電源をONにする



警告: ディスプレイを無理に開かないでください。ヒンジを破損する原因となります。また、ディスプレイを持って、パソコン本体を持ち上げないでください。

電源ボタンは、電源のON/OFFの切り替えや、スリープモード/休止モードに切り替える際に使用します。初期設定値では、起動中に電源ボタンを押すとスリープモードに入るよう設定されています。電源ボタンの動作はコントロールパネルの「電源オプション」でカスタマイズすることができます。

2. 各部の名称と説明

ノートパソコンの各部の名称についての説明



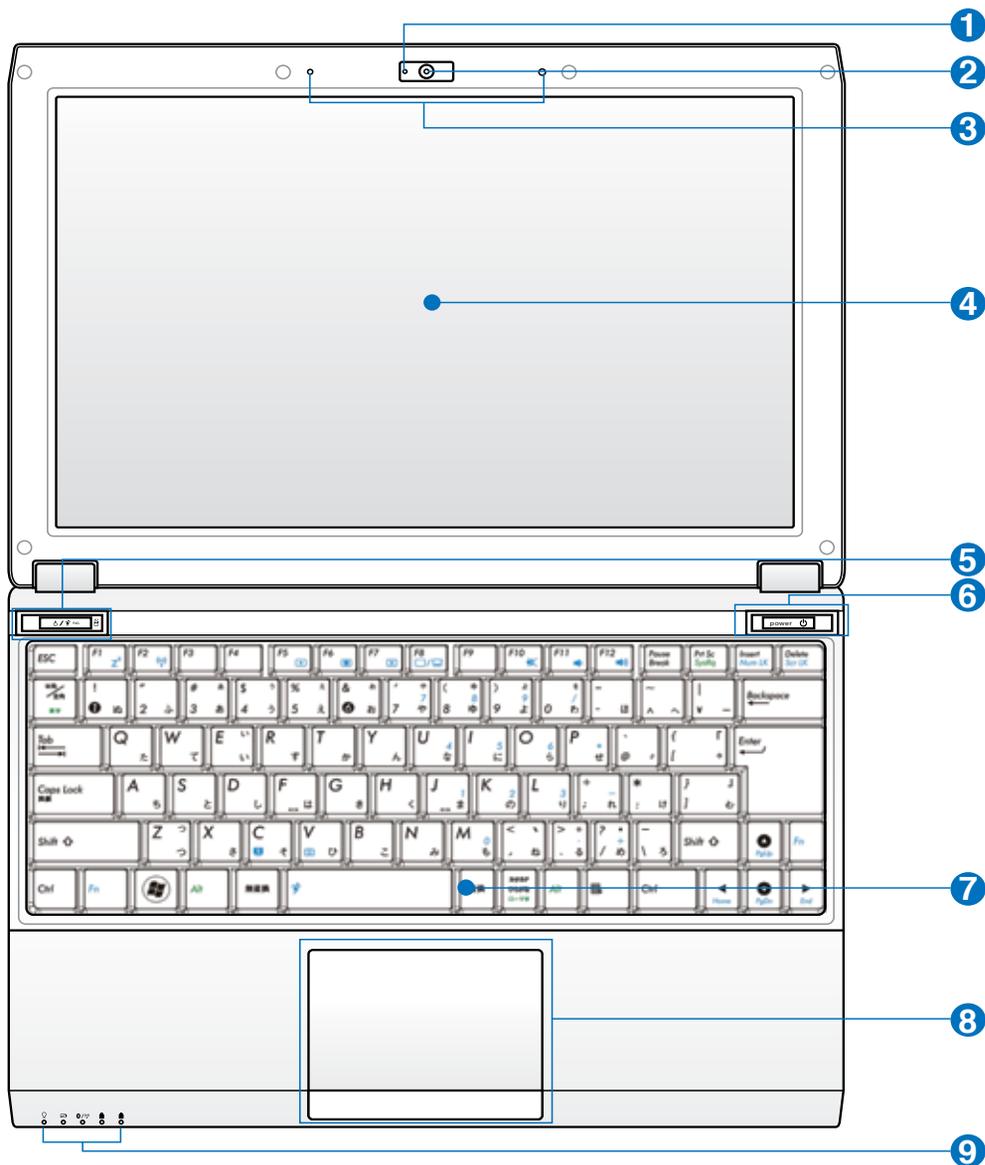
注意:本マニュアルに記載の写真やアイコンは参照用で、実際と異なる場合もあります。ご了承ください。

2 各部の名称と説明

上面

下図は、本機本体の上面の図です。

 注:キーボードのレイアウトはお買い上げの地域により異なります。



1  **カメラインジケータ**

内蔵型カメラの使用時に点灯します。カメラはサポートしているソフトウェアにより自動で起動します。

**2**  **カメラ(特定モデルのみ)**

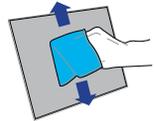
内蔵カメラにより、画像の撮影と動画の録画ができます。各種アプリケーションやビデオ会議等にご活用ください。

**3**  **アレイマイク(特定モデルのみ)**

内蔵型アレイマイクは、複数のマイクで音を加算することで、単一マイクに比べ音をより鮮明に收音することが可能で、クリアで聞きやすい收音を実現しています。ビデオ会議やナレーション、オーディオの録音、マルチメディアアプリケーション等にご活用ください。

**4**  **ディスプレイ**

本製品はアクティブマトリックス方式TFT液晶を採用しており、デスクトップモニタと変わらない視認性を発揮します。また、ノイズやちらつきもなく、目に負担をかけません。お手入れの際は、合成洗剤を避け、柔らかい布で拭き取るようにしてください(必要に応じて蒸留水を少し含ませてください)。

**5**  **インスタントキー**

ワンタッチでよく使用する機能を起動することができます。詳細は本マニュアルの以降の記載をご覧ください。

**6**  **電源ボタン**

電源ボタンは、電源のON/OFFの切り替えや、スリープモード/休止モードに切り替える際に使用します。電源ボタンの動作はコントロールパネルの「電源オプション」でカスタマイズすることができます。

**7**  **キーボード**

キーボードには十分なストロークを持たせてあり、パームレストが付いているため快適な操作が可能です。また、Windows™ファンクションキーが2つ付いています。



⑧ タッチパッドとタッチパッドボタン

タッチパッドとボタンはマウスと同等の機能を提供するポインティングデバイスです。タッチパッドユーティリティをセットアップすれば、ソフトウェア制御のスクロール機能を利用でき、Web 画面や文書の閲覧に便利です。



⑨ ステータスインジケータ (フロント)

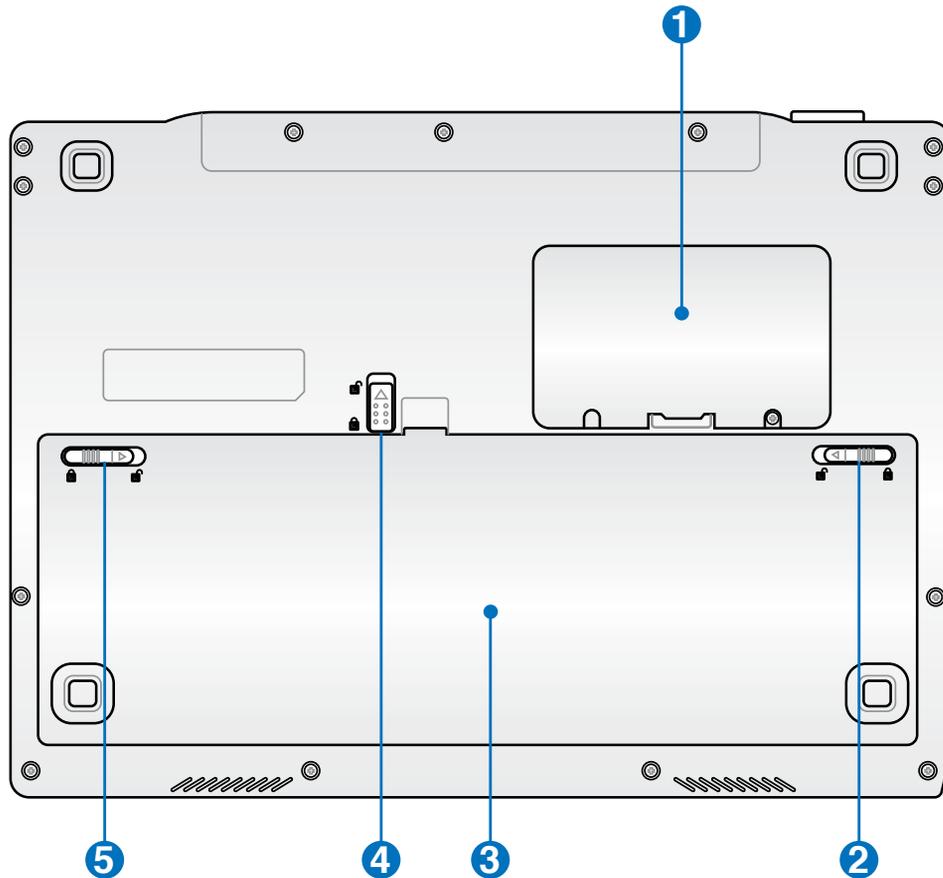
ハードウェア/ソフトウェアの状態を表示します。詳細は本マニュアルの以降の記載をご覧ください。



底面

下図は本機本体の底面の図です。

 注:モデルによって底面の外観は多少異なります。



警告:充電中や操作中は、本機の底面は高温になります。通気孔をふさぐ恐れがありますのでソファやベッドのような柔らかい面の上で使用しないでください。また、火傷の原因となりますので本機を膝または身体の他の部分に載せて操作しないでください。

① メモリ (RAM) コンパートメント

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが1つ搭載されています。ご購入いただいた時点でスロットは使用されているため、メモリの追加、増設は行えません。

注: お客様のメモリ換装に起因するトラブルはASUSのサポート対象外です。ご了承ください。



② バッテリロック (手動)

バッテリーパックを固定するためのロックです。バッテリーの取り付け/取り外しの際はこのロックを解除し、取り付け後はしっかり所定の位置にロックしてください。



③ バッテリパック

バッテリーパックはACアダプタを接続すると自動的に充電し、ACアダプタが取り外されているときは、パソコンに電力を供給します。バッテリーパックを装備していれば、さまざまな場所でパソコンを利用することが可能です。バッテリー駆動時間はパソコンの使用法、仕様により異なります。バッテリーパックは分解しないでください。



④ バッテリロック (バネ状)

バッテリーパックを入れると自動的にロックし固定します。バッテリーを取り外す際は、このロックを元の方向に戻してください。



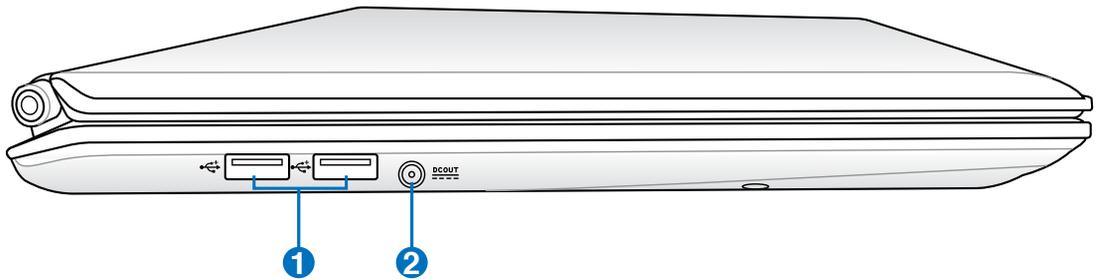
⑤ バッテリロック (手動)

バッテリーパックを固定するためのロックです。バッテリーの取り付け/取り外しの際はこのロックを解除し、取り付け後はしっかり所定の位置にロックしてください。



左側

下図は本機本体の左側の図です。



① USBポート (2.0/1.1)

2.0

USBポートはUSB2.0とUSB1.1の互換仕様となっており、キーボード、ポインティングデバイス、カメラ、ストレージなどが接続できます。USB1.1接続は最大12Mbps/sec、USB2.0接続は最大480Mbps/secの転送速度に対応します。USBはハブのように機能するUSBキーボードやモニタなどの周辺機器と併用すれば、1台のコンピュータで同時に複数のデバイスの使用が可能になります。また、USBはホットプラグに対応しているので、周辺機器の取り付け・取り外しが再起動せずに行えます。



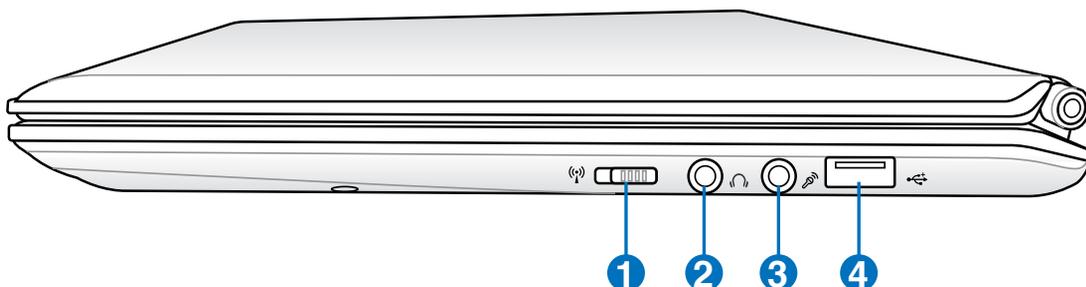
② DCOUT 電源出力 (外付け光学ドライブ用)

専用ケーブルを接続し、外付け光学ドライブの電源を供給します。なお、専用ケーブル及び外付け光学ドライブはオプションです。

2 各部の名称と説明

右側

下図は本機本体の右側の図です。



① 無線スイッチ

内蔵無線LANとBluetooth (特定モデルのみ) のONとOFFを切り替えます。有効にすると対応する無線インジケータが点灯します。無線LANとBluetoothを使用するにはWindowsソフトウェアの設定が必要です。



② ヘッドホン出力ジャック

本機に外付けスピーカーまたはヘッドホンを接続するには、ステレオヘッドホンジャック (1/8インチ) を使います。このジャックの使用を開始すると、内蔵スピーカーは自動的に無効となります。



③ マイク入力ジャック

モノラルマイクジャック (1/8インチ) は、外付けのマイクの接続、またはオーディオデバイスからの出力を入力するときに使います。このジャックを使用すると内蔵マイクは自動的に無効になります。ビデオ会議や、音声ナレーション、簡単な録音にご使用ください。



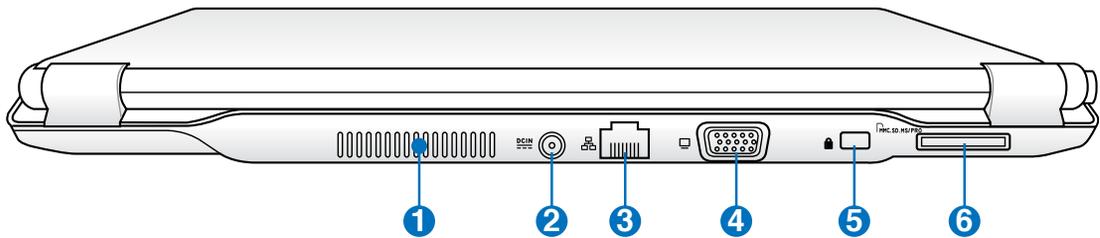
④ USBポート (2.0/1.1)

USBポートはUSB2.0とUSB1.1の互換仕様となっており、キーボード、ポインティングデバイス、カメラ、ストレージなどが接続できます。USB1.1 接続は最大12Mbps/sec、USB2.0 接続は最大480Mbps/secの転送速度に対応します。USBはハブのように機能するUSBキーボードやモニタなどの周辺機器と併用すれば、1台のコンピュータで同時に複数のデバイスの使用が可能になります。また、USBはホットプラグに対応しているので、周辺機器の取り付け・取り外しが再起動せずに行えます。



背面

下図は本機本体の背面の図です。



1 通気孔

通気孔により本体から熱を逃がします。



重要:紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔を塞がないようにしてください。故障の原因となります。



2 DCIN 電源入力

このジャックに付属のACアダプタを接続します。ACアダプタはAC電源をDC電源に変換し、本機に電力を供給しバッテリーパックを充電します。本機とバッテリーパックの損傷を防ぐため、常に付属のACアダプタを使用するようにしてください。

注:本機は使用中高温になることがあります。身体に密着して使用しないでください。火傷の原因となります。



3 LANポート

8ピンのRJ-45 LANポートはRJ-11モデムポートよりも大きく、ローカルネットワークに接続するための標準イーサネットケーブルをサポートします。増設アダプタ不要の便利な内蔵コネクタです。



2 各部の名称と説明

4 □ ディスプレイ(モニタ) 出力

D-sub 15ピンモニタポートは、モニタやプロジェクタなどの標準のVGA互換デバイスをサポートし、それらに画面を表示することが可能です。



5 鍵 Kensington® ロックポート

Kensington® 互換ノートパソコンセキュリティ製品と併用して、本機を固定することができます。これらのセキュリティ製品には通常メタルケーブルとロックが含まれ、固定された物体から本機を取り外せないようにしてあります。一部のセキュリティ製品には、動かすとアラームが鳴るものもあります。



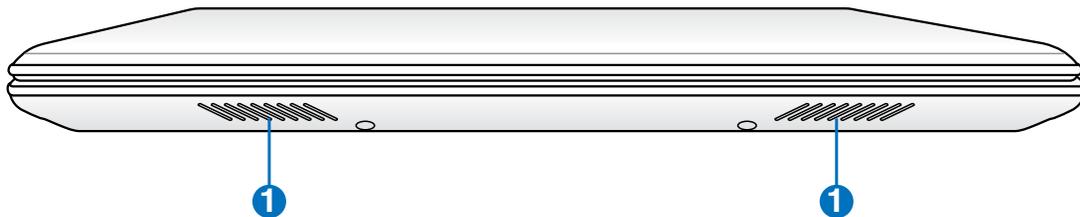
6 𠃍 フラッシュメモリスロット

通常、デジタルカメラ、MP3 プレイヤー、携帯電話、PDA などのメモ리카ードをパソコンで使用するには、外付けのメモ리카ードリーダーを別途ご購入いただく必要がありますが、本ノートパソコンには数種類のフラッシュメモ리카ードを書き込み、読み取ることのできる高速のメモ리카ードリーダーが内蔵されています。サポートしているメモ리카ードは本マニュアルの以降の記載をご覧ください。



前面

下図は本機本体の前面の図です。



🔊 オーディオスピーカーシステム

内蔵のステレオスピーカーシステムにより、特別な機能を追加せずに音楽をお楽しみいただけます。マルチメディアサウンドシステムはデジタルオーディオコントローラを搭載し、外部ステレオヘッドホンやスピーカーを使用することにより、より豊かなサウンド環境を作り出すことが可能です。オーディオ機能はソフトウェア制御です。



3. 使用の手引き

ACアダプタを使用する

バッテリーパックを使用する

電源をONにする

バッテリーの残量の確認

電源オプション

電源管理

キーボードを使用する

ボタン、スイッチとステータスインジケータ



注意:本マニュアルに記載の写真やアイコンは参照用で、実際と異なる場合もあります。ご了承ください。

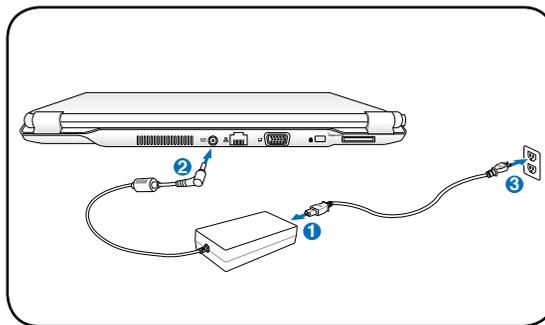
3 使用の手引き

パワーシステム



ACアダプタを使用する

本機のパワーシステムには、ACアダプタとバッテリーパワーシステムの2つがあります。ACアダプタはAC電源をノートパソコンに使うためにDC電源へ変換するものです。本機にはユニバーサルAC-DCアダプタが付属しているので、スイッチやコンバータを使わずに100V-120Vおよび220V-240Vの電源に接続することができます。国によっては、変換アダプタを使用して、付属のAC電源コードを異なる規格に変更することが必要な場合もあります。通常、ホテルでは異なる電源コードと電圧をサポートするユニバーサルコンセントを備えていますが、電源アダプタを他の国で使う場合は、コンセントの電圧について事前にご確認ください。



ヒント:市販品では多くの国と地域に対応しているノートパソコン用のトラベルキット(電源アダプタ・モデムアダプタ)なども販売されています。



注:市販のトラベルキットについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点は、トラベルキットの販売店にご相談ください。



警告:DCプラグを本機に接続する前に、AC電源コードを電源コンセントに接続しないでください。AC-DCアダプタの故障の原因となることがあります。



重要:指定外のアダプタで本機に電力を供給しないでください。また、付属のACアダプタとAC電源コードを他の製品に使用しないでください。故障の原因となります。ACアダプタから煙が出たり焦げくさい臭いがした場合や、ACアダプタが異常に熱くなった場合は修理をご依頼ください。故障したACアダプタの使用はバッテリーパックと本機の破損の原因となります。



注:本製品には、地域によって2芯または3芯のプラグが添付されています。3芯プラグの場合は、3芯用のコンセントまたは適応するアダプタを使用して安全にお使いください。



警告:使用中は高温になることがあります。身体に密着させて使用しないでください。火傷の原因になります。



ヒント:本機を使用しないときは、電源アダプタを抜くか、AC電源をOFFにしてください。電力消費を抑えることができます。

バッテリーパックを使用する

本製品のバッテリーパックは取り外しが可能です。バッテリーパックは、電池をまとめて1つにしたもので、ACアダプタを使用しない状態でも数時間電力を供給することが可能です。また、BIOSでのパワーマネジメント機能を利用してより長く電力を保つことができます。

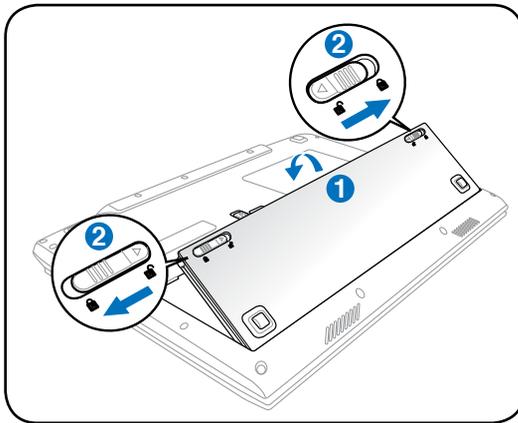
バッテリーパックの取り付けと取り外し

出荷時にバッテリーパックが取り付けられていない場合があります。取り付けられていない場合は、次の手順で取り付けてください。

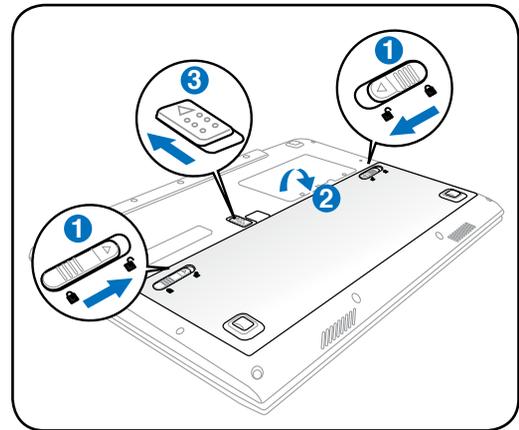


重要:本機の電源をONにしているときは、絶対にバッテリーパックを取り外さないでください。データ消失の原因となることがあります。

バッテリーパックの取り付け方



バッテリーパックの取り外し方



重要:バッテリーパックとACアダプタは、本機に付属のもの、または本モデル用にメーカーや販売店が指定したものを使用してください。本機の故障の原因となります。

バッテリーの取り扱い方

本機のバッテリーパックは、ほかの充電可能なバッテリーと同じく消耗品です。寿命は温度や湿度、および本機の使い方によって異なります。理想的なバッテリーの操作温度範囲は10°C～35°Cですが、本機の内部温度は外部温度より高くなることを考慮に入れ、この範囲外の温度で使用すると、バッテリーの寿命は短くなります。また、正しく使った場合でも、バッテリーパックの稼働時間は次第に短くなります。



警告:危険ですので、バッテリーを火中に投げないでください。また回路をショートさせたり、分解したりしないでください。衝撃により異常やダメージがバッテリーパックに発生した場合は本機の電源を切り正規サービスセンターにお問い合わせください。



①電源をONにする

電源をONにすると、本機の電源ONメッセージがスクリーンに表示されます。必要に応じ、ホットキーを使用して輝度を調節することができます。システム構成を設定または修正するためにBIOSセットアップを実行する場合は、起動時に<F2>を押してBIOSセットアップに入ります。BIOS起動ロゴが表示されている間に<Tab>を押すと、BIOSバージョンなどの起動情報が表示されます。なお、BIOSに入る際は、キーを複数回連打する必要があり、タイミングがずれるとOSが起動します。<ESC>を押すと、利用可能なデバイスから選択して起動するための、起動メニューが表示されます。



注:起動する前に、再度電源をONにするとディスプレイパネルが点滅します。これは本機のテストルーチンの一部で、ディスプレイの故障ではありません。



重要:ハードディスクドライブを守るために、電源が切れてから再度電源を入れるまで5秒以上時間をおいてください。



警告:電源がONのまま本製品を持ち運ばないでください。またキャリーバッグに入れたり、カバーをしったりしないでください。通気が悪くなり故障の原因となります。

②パワーオンセルフテスト (POST)

本機の電源をONにすると、パワーオンセルフテスト (POST) と呼ばれる一連のソフトウェア制御の診断テストが実行されます。POSTを制御するソフトウェアは、ノートパソコンアーキテクチャの固定部分としてインストールされています。POSTには、本機のハードウェア構成に関する記録が含まれており、システムの診断チェックに使用されます。この記録は、BIOSセットアッププログラムを使用することによって作成されます。POSTが記録と既存のハードウェア間の相違を検出すると、BIOSセットアップを実行することによって、相違を訂正するように要求するメッセージがスクリーンに表示されます。テストが完了すると、ハードディスクにOSがインストールされていない場合は、「OSが見つかりません」というメッセージが表示されます。これは、ハードディスクが正しく検出され、新しいOSをインストールする準備ができたことを示します。

③S.M.A.R.T.

S.M.A.R.T. (Self Monitoring and Reporting Technology) はPOST中にハードディスクドライブをチェックし、ハードディスクドライブを修理する必要がある場合、警告メッセージを表示します。起動中にハードディスクドライブの警告が表示されたら、データを直ちにバックアップしWindowsのディスクチェックプログラムを実行してください。このディスクチェックプログラムを実行するには、「スタート」ロゴ→「マイコンピュータ」→「ハードディスクドライブのアイコン」を右クリック→「プロパティ」→「ツール」タブ→「チェックする」→「開始」を選択します。「不良セクタをスキャンし、回復する」を選択すると、時間はかかりますがより詳細なスキャンと回復作業を行うことができます。



なお、警告メッセージが頻繁に表示される場合は、サポートセンターにご相談ください。

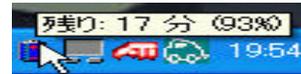


重要:ディスクチェックユーティリティを実行した後も、起動中にメッセージが表示される場合、ハードウェアの不具合の可能性が高く、本機の修理が必要な場合もあります。また、そのまま使用すると、データが消失することがあります。

🔋 バッテリーの残量の確認

電源オプションはWindowsのコントロールパネルにあります。この機能ではバッテリー残量をパーセンテージで正確に表示します。フル充電のバッテリーで2～3時間ノートパソコンを起動させることが可能ですが、実際は、省電力機能をどのように使うか、またCPUやメモリー、ディスプレイパネルのサイズによっても異なります。

バッテリーの残量を確認めるためには、カーソルを電源アイコンへ動かします。電源アイコンはバッテリー使用中は電池の絵で、電源に接続中はプラグの絵です。詳細と設定については、アイコンをダブルクリックしてください。



バッテリー残量を確認するためには、カーソルをバッテリーアイコンへ動かしてください。



ACアダプターの使用中は、充電状況が表示されます。



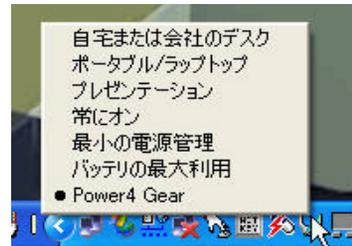
注: バッテリー残量が少ないままパソコンを使い続けると、パソコンはスタンバイ状態になります。(Windows 初期設定値はSTR)



注: 右の4枚の写真は参照用です。実際はシステムにより異なる場合があります。



バッテリーアイコンを右クリックするとサブメニューが表示されます。



電源管理の設定は、バッテリーアイコンをクリックしてください。



警告: Suspend-to-RAM (STR) 状態でも一定の電力を消費するため、バッテリー残量が少ないと長時間維持できません。Suspend-to-Disk (STD) 状態では消費電力は大幅に減りますが、これも電源がOFFの状態とは異なるので、電源が完全なくなるとパソコンは切れてしまいます(電源アダプタもバッテリーも取り外した場合など)。

🔋 バッテリーパックを充電する

外出先でノートパソコンを使用する前に、まずバッテリーパックを充電する必要があります。ノートパソコンにACアダプタを接続することで充電は開始されます。新しいバッテリーパックを使用の際は、バッテリーパックをフル充電してください。バッテリーパックを完全に充電するのに、電源をOFFにしているときは2～3時間かかり、ONにしているときはその倍の時間がかかります。バッテリーパックの充電が完了すると、バッテリーの充電ランプがOFFになります。



バッテリーの充電は、バッテリー残量が95%以下になると始まります。これはバッテリーが過度に充電されることを防ぐため、バッテリーの寿命を延ばす効果があります。



注: 気温が高すぎたり、電圧が高すぎるとバッテリーは充電されません。



警告: バッテリーは放電状態のまま放置しないでください。また、充電機能を維持するため、使用しないときは最低3ヶ月に1回充電することをお勧めします。

3 使用の手引き

再起動

OSの設定を変更した後などは、システムを再起動するように求められます。一部のインストール手順は、再起動を可能にするダイアログボックスを表示します。システムを手動で再起動する方法は以下の通りです。

「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」→「再起動」を選択します。



画面表示は、セキュリティの設定によって異なります。

電源をオフにする

Windows XPの場合は、本製品は「スタート」→「シャットダウン」→「電源オフ(またはシャットダウン)」で電源をオフにすることができます。適切な電源管理を持たないOS(DOS、Windows NT)の場合は、アプリケーションと既存のOSを終了させてから電源スイッチを2秒間押してノートパソコンの電源をオフにする必要があります。電源スイッチを2秒間押すのは、偶発的に電源がオフになるのを防ぐためです。



重要：HDDの保護のため、電源をOFFにしてからもう1度電源を入れるまで最低5秒待機してください。

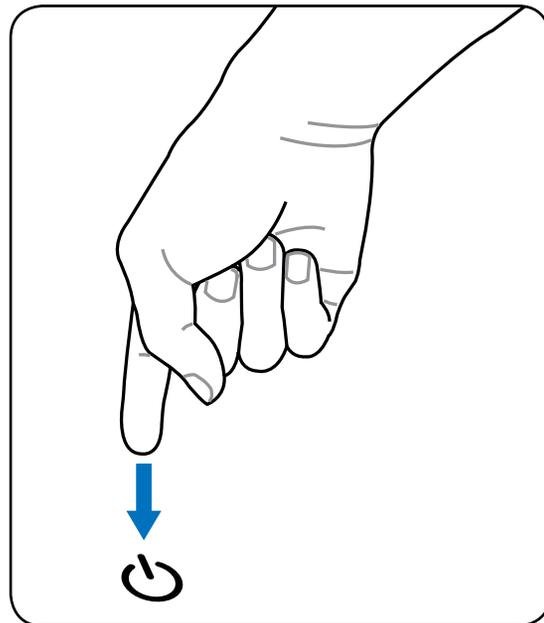
緊急のシャットダウン

ご使用のOSを適切に終了したり再起動したりできなくなった場合は、以下の方法で本機をシャットダウンします。

電源ボタン  を4秒以上押し続けます。



重要：データ書き込み中に、シャットダウンを行わないでください。データ消失の原因となります。





電源管理

本製品には各種省電力機能が搭載されており、バッテリーの寿命を最大限に伸ばし、総所有コスト（TCO）の削減に有効です。

ACPI 電源管理設定はOSを通して行えます。電源管理機能はコンポーネントを頻繁に低消費電力モードにする一方、システムの要求に最大限対応可能で、可能な限り電力を節約できるように設計されています。

「スタンバイ」はSTR (Suspend to RAM) と同じです。この機能は、多くのコンポーネントをオフにして、RAMに現在のデータと状態を保存します。RAMは不安定であるため、データを維持（リフレッシュ）するには多少の電力が必要です。操作方法：「スタート」→「終了オプション」→「スタンバイ」を選択します。



「休止状態」はSTD (Suspend to Disk) と同じでハードディスクドライブに現在のデータと状態を保存します。また、RAMを周期的にリフレッシュしないため「スタンバイ」よりも節電効果が高く、消費電力を大幅に抑えます。ただし、LANやモデム等の一部の呼び起こし用のコンポーネントに電力を供給するため、完全にオフにはなりません。操作方法：<Shift> キーを押している間、終了オプション内の「スタンバイ」の表示が「休止状態」に変わります。「スタート」→「終了オプション」→ <Shift> キーを押しながら「休止状態」を選択します。



❖ 熱パワーコントロール

本製品は、3つの電源コントロールで熱を管理します。これらの電源コントロールは、ユーザー設定することはできません。次の温度は（CPUではなく）ケースの温度を表しています。

- 温度が上限に達すると、ファンがONになってアクティブ冷却を行います。
- 温度が上限を超えると、CPUは速度を落としてパッシブ冷却を行います。
- 温度が最大上限を超えると、システムはシャットダウンして冷却を行います。



キーボードを使用する

ホットキー

コマンドが表記されたキーについて説明します。コマンドは、コマンドが表記されたキーを押しながら、Function キー<Fn>を押して実行します。



 **注:<Fn>キーの位置はモデルによって異なりますが、機能は同じです。**

  **Zz アイコン (F1) :**本機をスリープ状態にします。Save-to-RAMまたはSave-to-Diskは電源管理セットアップでのスリープボタンの設定により決定されます。

  **ラジオタワー (F2) :**無線モデルのみ:オンスクリーンディスプレイ機能で内部無線LANまたはBluetooth (特定モデルのみ) のON/OFFを切り替えます。有効時は、対応する無線インジケータが点灯します。無線LANまたはBluetooth を使用するにはWindows のソフトウェア設定が必要です。



  **小さい太陽アイコン (F5) :**ディスプレイの輝度を下げます。



  **大きい太陽アイコン (F6) :**ディスプレイの輝度を上げます。



  **LCDアイコン (F7) :**ディスプレイパネルのON/OFFを切り替えます。また、一部のモデルでは、このアイコンは低解像度モードを使用しているときに画面を全画面表示にすることができます。



  **LCD/モニタアイコン (F8) :**本機の液晶ディスプレイと外部モニタを次のように切り替えます:
液晶ディスプレイ→外部モニタ→液晶+外部モニター(クローンモード)→液晶+外部モニター(スパンモード)
この機能は256色モードでは動作しません。画面のプロパティ設定でHighColor(ハイカラー)選択してください。
注意:外部モニタは本機を起動する前に接続してください。



  **スピーカーアイコン (F10) :**スピーカーのON/OFFを切り替えます。(Windows OSのみ)



  **スピーカーダウンアイコン (F11) :**スピーカーのボリュームを下げます。(Windows OSのみ)



  **スピーカーアップアイコン (F12) :**スピーカーのボリュームを上げます。(Windows OSのみ)



ホットキー (続き)

  **Num Lk (Insert)** : 数字キー (ナンバーロック) の ON/OFF を切り替えます。 

  **Scr Lk (Delete)** : スクロールロックの ON/OFF を切り替えます。セルをナビゲーションする場合に、キーボードの大部分を使用できるようにします。 

  **[Fn]+[C]** : 「Splendid Video Intelligent Technology」機能の ON/OFF を切り替えます。この機能はコントラスト、明るさ、色調、彩度 (赤、緑、青を個々に調整) を変更してディスプレイの色彩モードを変える機能です。使用中のモードはオンスクリーンディスプレイ (OSD) 機能で確認することができます。 

  **[Fn]+[V]** : 「ASUS Life Frame」ソフトウェアを切り替えます。 

  **Power4Gear (Fn+Space Bar)** : このボタンで各省電力モードの切り替えを行います。省電力モードはノートパソコンを制御し、パフォーマンス対バッテリー時間を最大化します。ACアダプタの脱着に応じ、自動的に適切なモード (AC または DC) に切り替えます。使用中のモードはオンスクリーンディスプレイ (OSD) 機能で確認することができます。



Microsoft Windows キー

キーボードには下の説明のように、2つの特別なWindows™キーがあります。



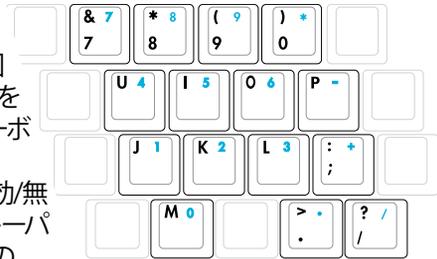
Windows™ロゴの付いたキーは、Windows™画面の左下にある「スタート」メニューを有効にします。



小さなカーソルの付いたWindows™メニューのように見えるキーはプロパティメニューを有効にし、Windows™オブジェクトの右マウスボタンを押すのと同じ働きをします。

キーボードを数値キーパッドとして使う

数値キーパッドはキーボードに数字が書かれた15のキーからなり、頻繁な数字入力を簡単にします。これらのキーには、キーキャップに数字が表示されています。数字キーの配置は、図のとおりです。<Fn><Ins/Num LK>を押して数値キーパッドを有効にすると、数値ロックLEDが点灯します。また、外付けキーボードを接続しているときに外付けキーボードの<Ins/Num LK>を押すと両方のキーボードのNumLockの有効/無効を同時に切り替えることができます。外付けキーボードのキーパッドを有効にしたまま数値キーパッドを無効にするには本機の<Fn><Ins/Num LK>キーを押します。

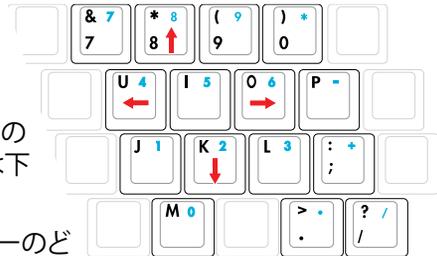


キーボードをカーソルとして使う

キーボードをカーソルとして使用すると、スプレッドシートまたはそれに類似したアプリケーションに数値データを入力するときの操作性が上がります。

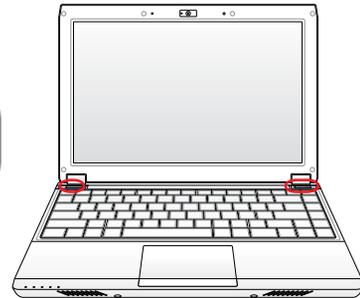
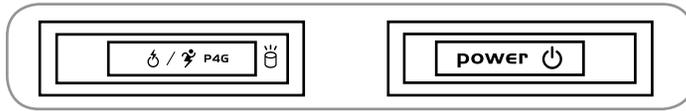
数字ロックがOFFのときは、<Fn>と右に示すカーソルキーのどれかを押します。例えば、<Fn><8>は上に、<Fn><K>は下に、<Fn><U>は左に、<Fn><O>は右に移動します。

数値ロックがONのときは、<Shift>と右に示すカーソルキーのどれかを使用します。例えば、<Shift><8>は上に、<Shift><K>は下に、<Shift><U>は左に、<Shift><O>は右に移動します。



図中の赤い矢印は参照用です。実際のキーボードには表示されていません。

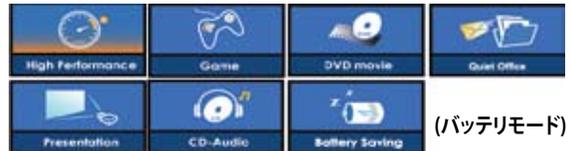
ボタン、スイッチとステータスインジケータ ボタン、スイッチ



Express Gate/ Power4Gear ボタン

本機の電源がOFFのときにこのボタンを押すと、Express Gate が起動します。詳細はExpress Gate のユーザーマニュアルをご参照ください。

本機の電源がONのときは、Power4Gear eXtreme ボタンとして機能し、各省電力モードの切り替えを行います。省電力モードはノートパソコンを制御し、パフォーマンス対バッテリー時間を最大化します。ACアダプタの脱着に応じ、自動的に適切なモード (ACまたはDC) に切り替えます。使用中のモードはスクリーンに表示されます。



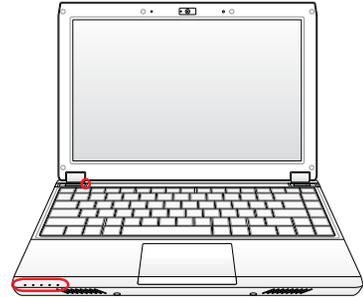
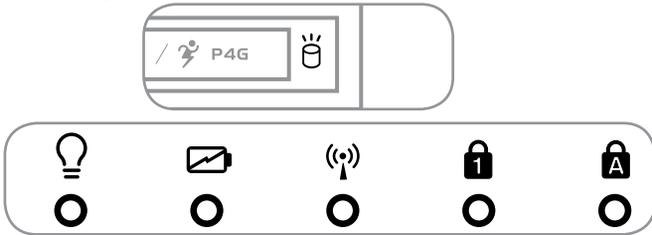
電源ボタン

電源ボタンは、電源のON/OFFの切り替えや、スリープモード/休止モードに切り替える際に使用します。電源ボタンの動作はコントロールパネルの「電源オプション」でカスタマイズすることができます。



ボタン、スイッチとステータスインジケータ (続き)

ステータスインジケータ フロント



ドライブアクティビティインジケータ

本機がハードディスクなどの1つまたは複数の記憶装置にアクセスしていることを示します。ランプはアクセス時間に比例して点滅します。



電源インジケータ

電源インジケータ点灯時は本機の電源はON、点滅時は本機はスリープモードに入っています。このLEDがOFFのときは、本機がOFFまたは休止モードです。



バッテリー充電インジケータ

バッテリー充電インジケータは、次のようにバッテリーの状態を示します。

ON: 本機のバッテリーが充電中

OFF: 本機のバッテリーが完全に充電された状態、またはバッテリー残量がゼロ

点滅: ONのときバッテリーの残量が10%以下で、アダプタが接続されていない状態



Bluetooth / 無線インジケータ

内蔵Bluetooth (BT) または無線LANを内蔵するモデルのみです。本機の内蔵BT機能が有効になっているときに点灯します。また、内蔵の無線LAN機能が有効になっているときにも点灯します。(Windows ソフトウェア設定が必要です)



ナンバーロックインジケータ

点灯時は、ナンバーロック [Num Lk]機能が有効になっています。ナンバーロックはテンキーの用途を切り替え、数字を入力しやすくする機能です。



Caps Lockインジケータ

ランプがついているとき、Caps Lock がアクティブになっていることを示します。Caps Lock によって、大文字 (例、ABC) を入力できるようになります。Caps Lock ランプがOFFになっているとき、入力された文字は小文字 (例、a b c) になります。



4. ノートパソコンを使用する

ポインティングデバイス

記憶装置

光学ドライブ

フラッシュメモリカードリーダー

ハードディスクドライブ

接続

ネットワーク接続

無線LAN接続(特定モデルのみ)

Bluetooth 無線接続(特定モデルのみ)



注意:本マニュアルに記載の写真やアイコンは参照用で、実際と異なる場合もあります。ご了承ください。

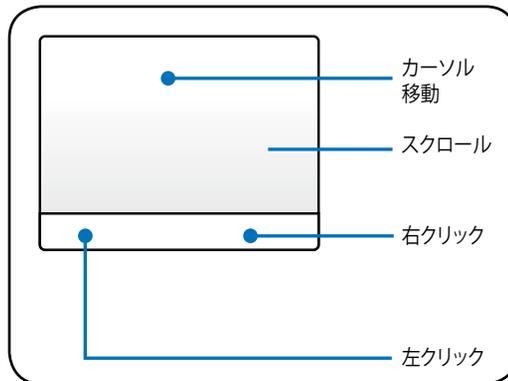
4 ノートパソコンを使用する

☐ ポインティングデバイス

本機に組み込まれたタッチパッドポインティングデバイスはマウスと完全な互換性があります。タッチパッドは感圧式で稼働部分がないため、機械が故障することはありません。ただし、一部のアプリケーションソフトウェアで動作させるためには、デバイスドライバが必要となります。



重要:タッチパッドの操作には、指以外は使用しないでください。タッチパッドの表面を傷つける恐れがあります。

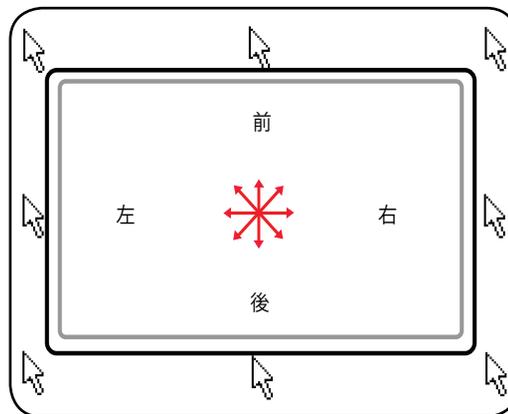


タッチパッドを使用する

タッチパッドの操作は、指先で軽く触れるだけです。タッチパッドは静電気に敏感に反応するため、指以外は使用することはできません。タッチパッドの主な機能は、マウスの代わりに指先を使用して、カーソルを移動したり画面に表示された項目を選択することです。右の図をご参照ください。

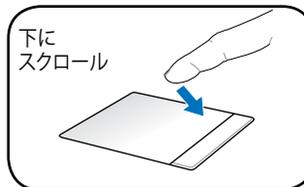
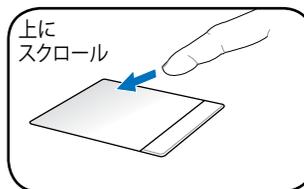
カーソルの移動

タッチパッドの中央に指を置き、指をスライドさせてカーソルを動かします。



スクロール (特定モデルのみ)

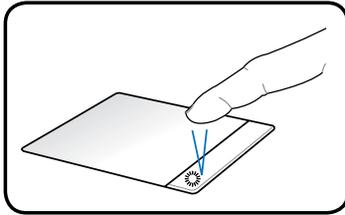
タッチパッドの右側で指をスライドさせ、ウィンドウを上下にスクロールします。



☐ タッチパッドの使い方

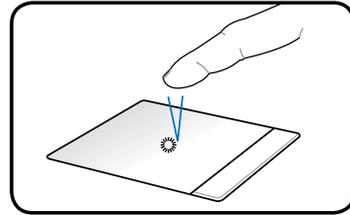
クリック/タップ:カーソルをアイテムの上に置いて、左ボタンを押すか、指先でタッチパッドに軽く触れると、選択したアイテムの色が変わります。次の2つの操作の内容は全く同じです。

クリック



左側ボタンを押して離します。

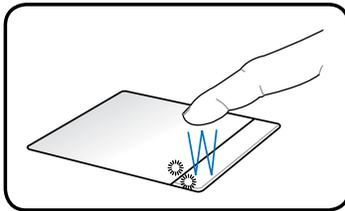
タップ



タッチパッドを軽く素早く打ちます。

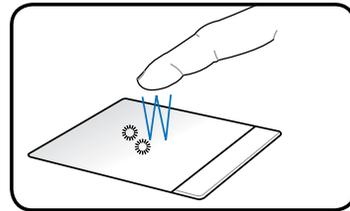
ダブルクリック/ダブルタップ:選択したアイコンから直接プログラムを起動します。カーソルを実行するアイコンの上に移動し、続けて素早く左ボタンを2度押すか、またはパッドを2度タップすると、選択したプログラムが起動します。クリックまたはタップの間隔が長すぎると、起動できません。また、Windowsのコントロールパネルの「マウス」を使用してダブルクリックの速度を設定することができます。次の2つの操作の内容は全く同じです。

ダブル
クリック



左ボタンを2度押して離します。

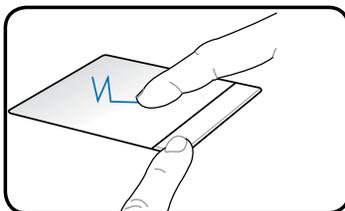
ダブル
タップ



タッチパッドを軽く、素早く2度打ちます。

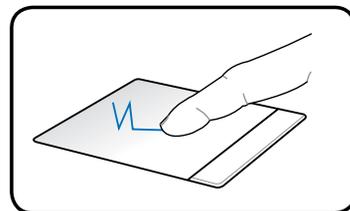
ドラッグ:アイテムを選択し移動します。アイテムの上にカーソルを移動し、左ボタンを押したままカーソルを移動したらボタンを離します。または、アイテムを素早くダブルタップし、指先でアイテムを選択したままドラッグすることもできます。次の2つの操作の内容は全く同じです。

ドラッグ
クリック



左ボタンを押えたまま、タッチパッド上で指をスライドさせます。

ドラッグ
タップ



タッチパッド上で素早く2回タップし、2回目のタップに続けてタッチパッド上で指をスライドさせます。

4 ノートパソコンを使用する

□ タッチ패드のお手入れ

タッチパッドは感圧式です。適切に取り扱わないと故障する可能性が非常に高くなります。次の注意事項を必ず守ってお使いください。

- ・タッチパッドに埃、液体、油分を付着させない。
- ・汚れた指、濡れた指で、タッチパッドに触れない。
- ・タッチパッドやタッチパッドのボタンに物を置かない。
- ・爪や硬い物等でタッチパッドを傷つけない。



注:タッチパッドは力ではなく動きに反応します。表面を強くタップする必要はありません。強くタップしてもタッチパッドの感度は増しません。タッチパッドは軽い圧力にもっとも良く反応します。

記憶装置

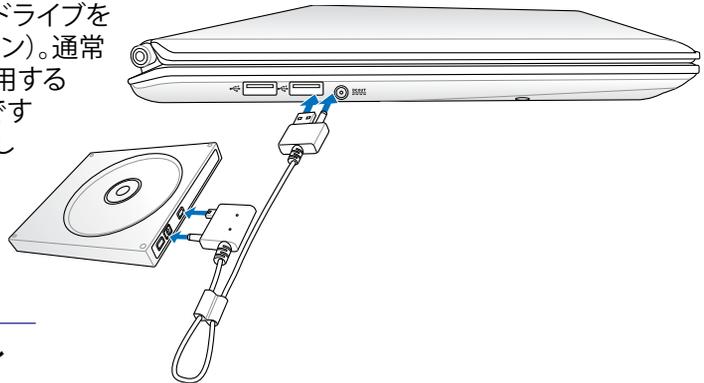
文書や画像、その他のファイルをさまざまなデータ記憶装置に書き込み/読み込みできます。本機では以下の記憶装置を利用することが可能です。

- 光学ドライブ (外付けドライブ: オプション)
- フラッシュメモリカード • ハードディスクドライブ

④ 光学ドライブ (外付け: オプション)

外付け光学ドライブを接続する

USB2.0ポートにより、外付け光学ドライブを接続することができます (オプション)。通常の場合、外付け光学ドライブを使用するには追加の電源アダプタが必要です。が、本機はUSBバスパワーに対応していますので、USBバスパワー対応の外付け光学ドライブを電源アダプタを接続せずに使用することができます。



重要: 安全上の規則と情報に関しては、「付録」をご参照ください。

4 ノートパソコンを使用する

◎ 光学ドライブを使用する

光学ディスクと光学ドライブには精密部品が組み込まれているため、注意して取り扱う必要があります。CD製造元の安全に関する指示に従ってください。デスクトップの光学ドライブとは異なり、ノートパソコンはスピンドルを使用して、角度に関わらずCDを所定の位置に固定しています。CDを挿入するときはCDを中央スピンドルにしっかり固定してください。固定しないとドライブトレイでCDが傷付くことがあります。



警告：CDが中央スピンドルでしっかりロックされていないと、トレイを閉じるときにCDが傷つくことがあります。閉じる際はCDを傷つけないよう、トレイはゆっくり閉じてください。

ドライブ内にディスクがなくても、CDドライブ名は表示されます。CDを正しく挿入するとハードディスクドライブと同じようにデータにアクセスすることができます。CDはハードディスクドライブと異なり書き込みや変更が一切できません。CD-RWドライブやDVD+CD-RWドライブはCD-RWディスクへの書き込みや削除、編集が可能です。

CD面の印刷により、光学ドライブが振動することがあります。振動を抑えるためには、平らな面でノートパソコンを使用しCDにラベルを貼らないようにしてください。

オーディオCDを聞く

光学ドライブはオーディオCDを再生することができますが、DVDオーディオを再生するためにはDVD-ROMドライブを使用し、DVD再生ソフトがインストールされている必要があります。搭載OSにより、DVD再生ソフトがインストールされていない状態でも再生可能な場合があります。オーディオCDを挿入すると、Windows がオーディオプレーヤー (WindowsMediaPlayer) を自動的に開き、再生を開始します。DVDオーディオディスクを接続し、DVD再生ソフトをインストールしている場合によっては、DVDオーディオを開くためにDVDプレーヤーを開く必要があります。また、ホットキーもしくはタスクバーのWindows スピーカーアイコンを使用して、音量を調節することができます。

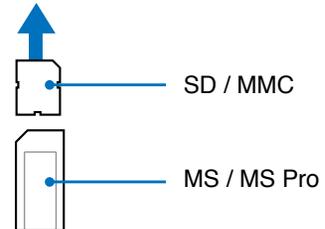
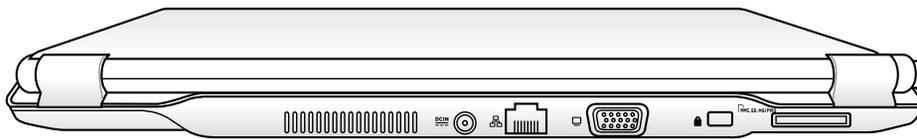
フラッシュメモリカードリーダー

デジタルカメラやMP3プレイヤー、携帯電話、PDAなどのメモリカードを使用するには通常、メモリカードリーダーの購入が必要ですが、本ノートパソコンにはメモリカードリーダーが1基内蔵されており、以下のフラッシュメモリカードを読み取ることができます。内蔵のメモリカードリーダーは便利であるだけでなく、高いバンド幅のPCIバスを採用しているため、他の形式のメモリカードリーダーより高速で動作します。



重要!フラッシュメモリカードの互換性は、ノートパソコンのモデルとフラッシュメモリカードの仕様に左右されます。また、フラッシュメモリカードの仕様は常に変更されており、互換性も予告なく変更されることがあります。

サポートするフラッシュメモリカード(例)



* 上記のモジュールに関しては、変換アダプタを用いることで、ご利用になることができます。



重要:データが消失する恐れがありますので、データの読み込みやコピー、フォーマット、削除などの処理中および処理直後は、カードを取り外さないでください。



警告:データ消失を避けるために、フラッシュメモリカードを取り外す際は、タスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」を利用してください。



4 ノートパソコンを使用する

■ ハードディスクドライブ

ハードディスクドライブはフロッピーディスクドライブや光学ドライブより大容量かつ高速です。本ノートパソコンには幅2.5インチ (6.35cm)、および高さ0.37インチ (0.95cm) のHDDが搭載されています。このハードドライブはS.M.A.R.T. (Self Monitoring and Reporting Technology) をサポートし、ディスクエラーを未然に検出し、ハードディスクドライブの物理的不具合を防ぎます。



重要: ノートパソコンを移動する際に不適切に取り扱くと、ハードディスクドライブが損傷することがあります。ノートパソコンは注意して取り扱い、静電気や強い振動や衝撃を受ける場所には近づけないでください。ハードディスクドライブはノートパソコンで最もデリケートなコンポーネントで、ノートパソコンが衝撃を受けた場合などに最初に損傷するコンポーネントです。



ハードディスクドライブは収納部に固定されています。保証対象外となりますので部品交換などは行わないようにしてください。

接続

 注:内蔵モデムとネットワーク機能を購入後に追加することはできません。モデムとネットワーク機能を追加する際はPCカード (PCMCIA) を使用します。

ネットワーク接続

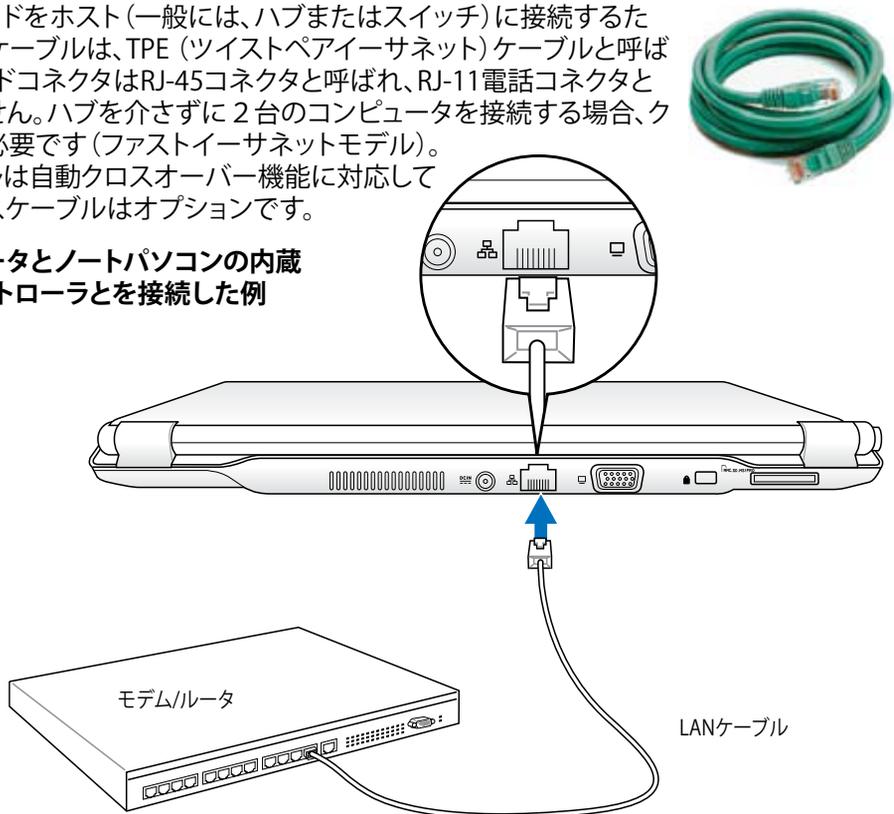
RJ-45のコネクタが両端に付いているケーブルを使用します。ケーブルの一方をノートパソコン上のネットワークポートに、もう一方をモデム、ルータの末端に繋ぎます。100BASE-TX/1000BASE-Tの場合は、カテゴリ5以上 (カテゴリ3ではない) のネットワークケーブルとツイストペアケーブルが必要です。100/1000Mbps のインターフェイスで稼動する予定の場合は、100BASE-TXハブ/1000BASE-Tハブ (BASE-T4ハブではない) に接続する必要があります。10BASE-Tの場合はカテゴリ3、4、または5のツイストペアケーブルを使用します。10/100 Mbps Full-Duplex (全二重通信) はこのノートパソコンでサポートされていますが、「Duplex (二重)」を有効にしてスイッチングハブに接続する必要があります。ソフトウェアの初期設定には最速の設定が使用されています。

 **1000BASE-T (またはGigabit) は特定モデルのみでのサポートです。**

ツイスト線ケーブル

イーサネットカードをホスト (一般には、ハブまたはスイッチ) に接続するために使用されるケーブルは、TPE (ツイストペアイーサネット) ケーブルと呼ばれています。エンドコネクタはRJ-45コネクタと呼ばれ、RJ-11電話コネクタと互換性がありません。ハブを介さずに2台のコンピュータを接続する場合、クロスケーブルが必要です (ファストイーサネットモデル)。ギガビットモデルは自動クロスオーバー機能に対応していますのでクロスケーブルはオプションです。

モデムまたはルータとノートパソコンの内蔵イーサネットコントローラとを接続した例



4 ノートパソコンを使用する

無線LAN接続 (特定モデルのみ)

オプションの内蔵無線LANは、コンパクト設計の無線イーサネットアダプタです。無線LAN (WLAN) 対応のIEEE 802.11b/g (Wi-Fi適合)、IEEE 802.11n (Draft 2.0) に対応し、周波数 2.4GHz/5GHz、DSSS (Direct Sequence Spread Spectrum) とOFDM (Orthogonal Frequency Division Multiplexing) 技術で高速データ通信を可能にしました。また、初期のIEEE802.11規格にも下位互換性があります。

このオプションの内蔵無線LANはクライアントアダプタで、インフラストラクチャモードとアドホックモード両方に対応。無線ネットワークの設定に幅がでます。アクセスポイントとクライアントの距離は最高40メートルです。

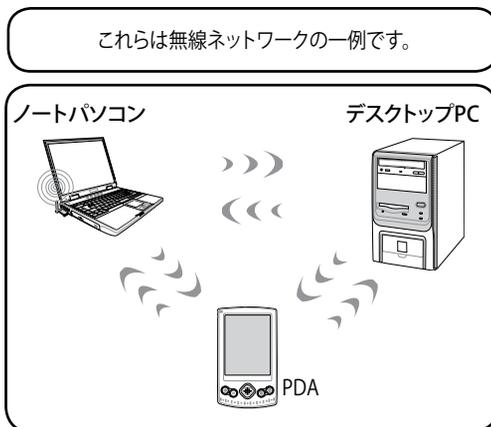
セキュリティをより効果的にするため、オプション内蔵無線LANには64bit/128bit WEP (Wired Equivalent Privacy) 暗号化方式とWPA (Wi-Fi Protected Access) 機能が採用されています。



セキュリティの観点から、不明なネットワークには接続しないでください。暗号化設定がされていないネットワークでは、ユーザーの情報が第三者に流失する恐れがあります。

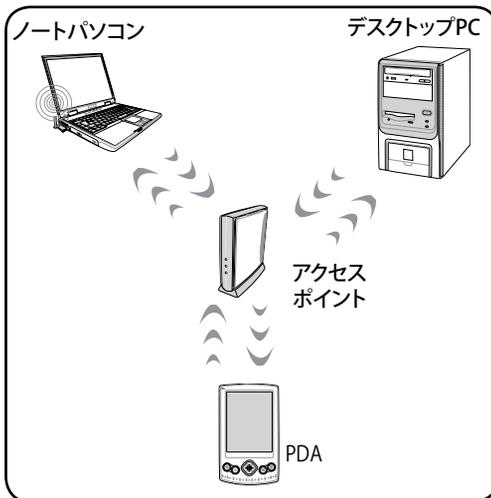
アドホックモード

ノートパソコンを他の無線デバイスに接続することができます。アクセスポイントは不要です。



インフラストラクチャモード

ノートパソコンと他の無線デバイスをアクセスポイント (別売り) で構築された無線ネットワークに加えることができます。無線クライアント用にセントラルリンクを提供し、無線ネットワーク同士または有線ネットワーク間のコミュニケーションが可能です。



Windows 無線ネットワーク接続 ネットワークに接続する

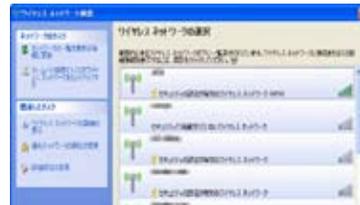


(Bluetooth 有効)

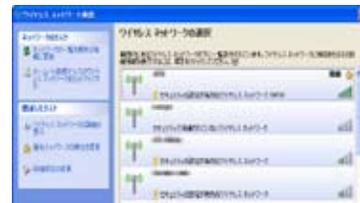
1. <FN+F2>キーを押す、またはタスクバーの「Wireless Console」アイコンをダブルクリックするとアイコンが4つ表示されます。1つ目のアイコンをクリックし「Wireless & Bluetooth」を有効にします。2つ目のアイコンをクリックして「Wireless」のみを有効にすることもできます。



2. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「ネットワーク接続」アイコンをクリックします。表示されない場合は左メニューの「クラシック表示に切り替える」をクリックします。



4. アイコンを右クリックし、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」を選択します。
5. 左メニューから「ネットワークの一覧を最新の情報に更新」をクリックし、エリア内で利用できるネットワークを表示させます。使用するネットワークを選択し、「接続」をクリックします。



6. ネットワークの検出/接続が実行されます。続いて接続を確立するため、パスワードを入力します。
7. 接続が確立すると信号の強さを表示するインジケータの右上に「接続または接続済み」と表示されます。

詳しくは各社プロバイダ様へお問い合わせください。

4 ノートパソコンを使用する

Bluetooth無線接続(特定モデルのみ)

本機はBluetooth対応機種ですので、ケーブル接続を使用せずに他のBluetooth対応デバイス(ノートパソコン、デスクトップPC、携帯電話、PDA等)に接続することができます。



注:お使いのノートパソコンに内蔵Bluetoothが搭載されていない場合は、USBまたはPCカードBluetoothモジュールの接続が必要です。

Bluetooth対応携帯電話

携帯電話とBluetooth接続が可能です。機種により、電話帳や画像、音声ファイル等の転送が可能です。



Bluetooth対応コンピュータ/PDA

他のPCやPDAに無線接続し、データや周辺機器、インターネット接続の共有が可能です。また、Bluetooth対応の無線キーボードやマウスも利用することができます。



付録

OSとソフトウェア

システムBIOS 設定

よく聞かれる問題と解決方法

Windows® XP™ リカバリーソフトウェア

Declarations and Safety Statements

オーナー情報



注:本マニュアルに記載の写真やアイコンは参照用で、実際と異なる場合もあります。ご了承ください。

Power4 Gear Turbo

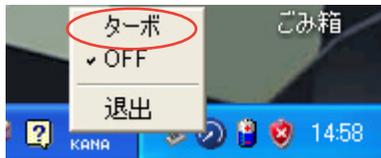
Power4Gear Turbo は Windows 環境で簡単にCPUのオーバークロックができ、ノートパソコンのシステムパフォーマンスを上げることができます。

Power4Gear Turboを使用する

1. Power4Gear Turbo が起動していることを確認します。起動していない場合は、「スタート」→「すべてのプログラム」→「ASUS Utilities」→「ASUS Power4Gear Turbo」の順にクリックし、Power4Gear Turbo を起動します。起動すると Power4Gear Turbo アイコンがシステムトレイに表示されます。



2. Power4Gear Turbo アイコンを右クリックし、「ターボ」を選択します。



3. 画面表示が現れ、Power4Gear Turbo アイコンの色が青から赤に変わります。



✔ Power4Gear Turbo を「ターボ」に設定した状態で、プログラムを終了（退出）すると、CPUはオーバークロックされた状態で維持されます。

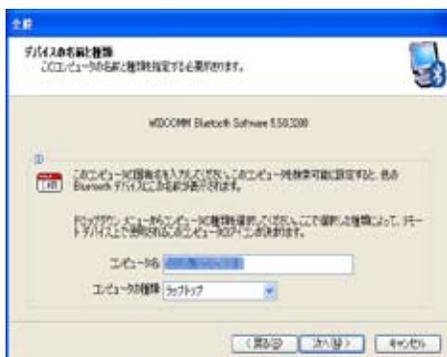
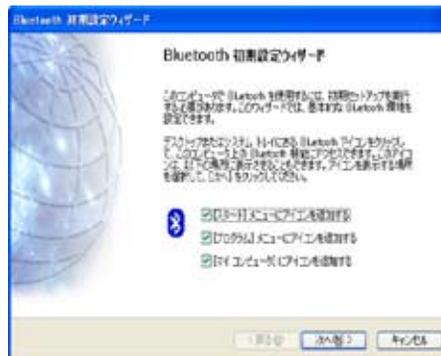
✔ Power4Gear Turbo は電源管理モード（システムシャットダウン、再起動、スリープ、休止モード等）が変更されると、必ず「OFF」設定に戻ります。

Bluetooth のセットアップA (オプション)

このセットアップ方法はほとんどのBluetooth デバイスでご利用いただけます。

1. 必要に応じ、無線スイッチ/ボタンをオンにします (モデルにより異なる)。詳細はセクション 3 を参照。

2. 「**Bluetooth ON**」または「**WLAN & Bluetooth ON**」が表示されるまで <Fn> + <F2> を押します。
3. デスクトップで「**マイ Bluetooth**」をクリックし、画面の指示に従って初期化を完了します。「**次へ**」を押して続行します。



4. コンピュータに名前を付け、コンピュータのタイプを選択します。「**次へ**」を押して続行します。
5. このデバイスが提供するBluetooth サービスを決め、「**次へ**」を押して続行します。
6. リストからユーザーが使用するサービスを選択し、「**次へ**」を押して続行します。



セットアップA(続き)



7. 「次へ」をクリックし、Bluetooth 接続のセットアップを開始します。
8. リストからBluetooth が有効になっているデバイスを選択し、「次へ」をクリックします。



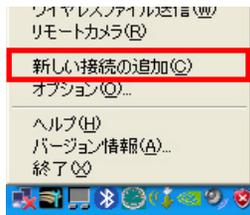
9. Bluetooth セキュリティコードを入力し、ペアリングを開始します。
10. ペアリングが完了したら、リストから使用するサービスを選択し、「完了」をクリックして選択したサービスを使用します。



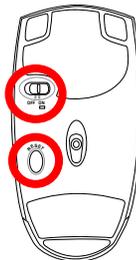
接続する機器によってはペアリング時にPIN Code を入力、使用するサービスの選択がない場合もごさいます。

Bluetooth のセットアップB (オプション)

このセットアップ方法はほとんどのBluetooth デバイスでご利用いただけます。



1. タスクバーの Bluetooth アイコンを右クリックし、「新しい接続の追加」を選択します。



Bluetooth マウスの場合は、以下のような手順が必要です。

2. マウスの底部にある電源スイッチで電源をONにします。
3. 「RESET」ボタンを押します。



4. 「エクスプレスモード」を選択し「次へ」をクリックします。



5. 利用できるBluetooth デバイスの一覧が表示されますので、「Bluetooth Travel Mouse」を選択し「次へ」をクリックします。



6. ソフトウェアがBluetooth マウスの登録を行います。登録が完了したら「次へ」をクリックします。

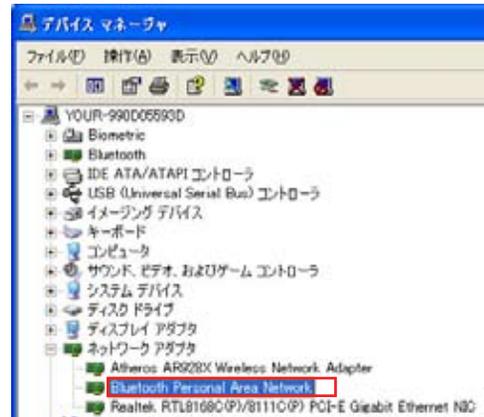


7. 画面にマウスのアイコンが表示されます。

トラブルシューティング

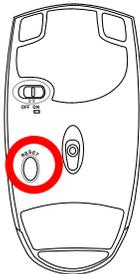
Bluetooth が有効になっているか分からない

デバイスマネージャで確認できます。「Bluetooth Personal Area Network」が図のように表示されていれば、有効になっています。



Bluetooth マウスが一覧に表示されない

右の画面で「更新」を押し、マウスの「RESET」ボタンを押します。必要な場合はこの手順を繰り返してください。



Bluetooth マウスを登録したが、マウスが機能しない



Bluetooth アイコンをダブルクリックします。



上のような確認画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



OSとソフトウェア

本ノートパソコンには、Microsoft Windows OSが予めインストールされています。ハードウェアとソフトウェアのサポートは、インストールしたOSによって異なります。なお、サポート外のOSの安定性と互換性は保証できません。

サポートするソフトウェア

本ノートパソコンにはBIOS、ドライバ、アプリケーションをコンテンツに含むサポートディスクが付属しています。ノートパソコンのハードウェアの特性を有効にし、機能を拡張し、管理を容易にします。また、OSで提供していない機能を追加することもできます。サポートディスク内のドライバ等の更新や交換が必要になった場合は、Webサイトから個別のソフトウェアドライバやユーティリティをダウンロードしてください。



サポートディスクには、予めインストールされたものも含め、OS用のドライバ、ユーティリティ、ソフトウェアが全て含まれています。ただし、OS自体はサポートディスクには含まれていません。出荷時にインストールされていないソフトウェアをインストールする際にサポートディスクをご使用ください。

リカバリーディスクはオプションで、出荷時にハードディスクドライブにインストールされているOSデータが含まれています。リカバリーディスクはノートパソコンの包括的な回復ソリューションを提供します。ハードディスクドライブが良好な作動状態であれば、ノートパソコンのOSを出荷時の状態に素早く復元します。なお、この作業が必要になったときは、販売店にお問い合わせください。

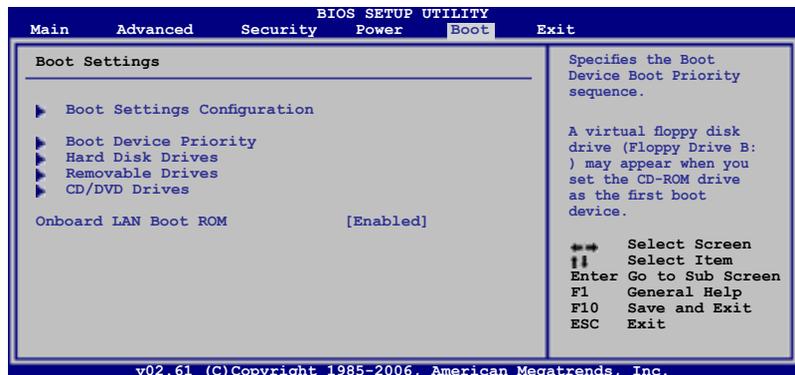


注: デバイスドライバやユーティリティをインストールしないと動作しないコンポーネントや機能もあります。

システムBIOS設定

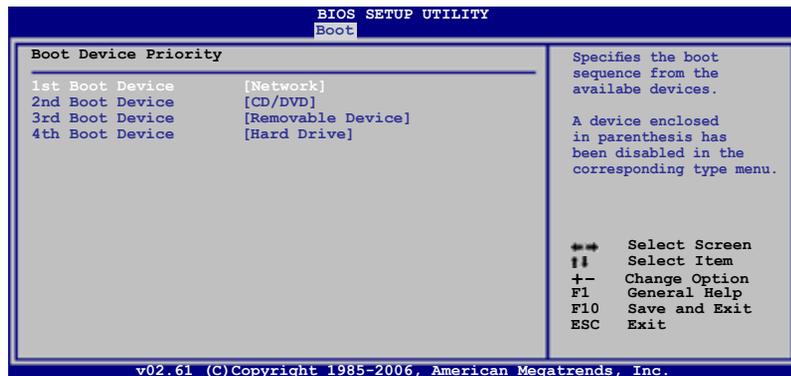
Boot Device (起動デバイス)

1. 「Boot」画面で「**Boot Device Priority**」(起動デバイスの順位)を選択します。



システムBIOS設定 (続き)

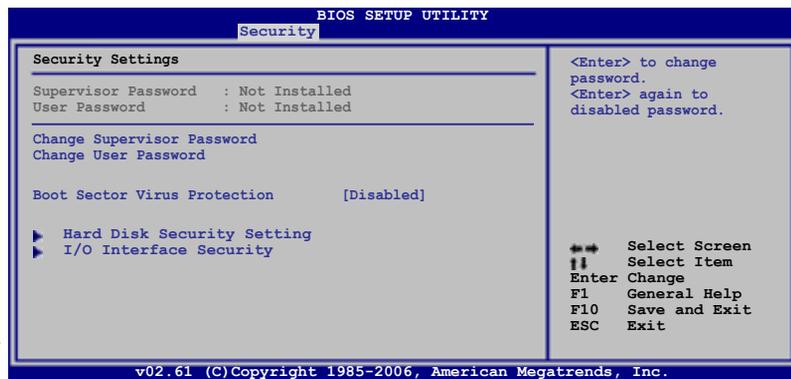
2. 各項目を選択し、
[Enter] を押してデバイスの起動順位をそれぞれ設定します。



Security Setting (セキュリティ設定)

パスワードを設定する:

1. 「Security」画面で「Change Supervisor Password」または「Change User Password」を選択します。
2. パスワードを入力し、[Enter]を押します。
3. パスワードを再入力し [Enter]を押します。
4. パスワードが設定されました。



パスワードを削除する

1. パスワードの欄を空欄にし、[Enter]を押します。
2. パスワードが削除されました。

システムBIOS設定 (続き)

Password Check (パスワードチェック)

起動する度にパスワードを要求する (Always) か、BIOSに入るときだけ要求する (Setup) かを選択します。



User Access Level (アクセスレベル)

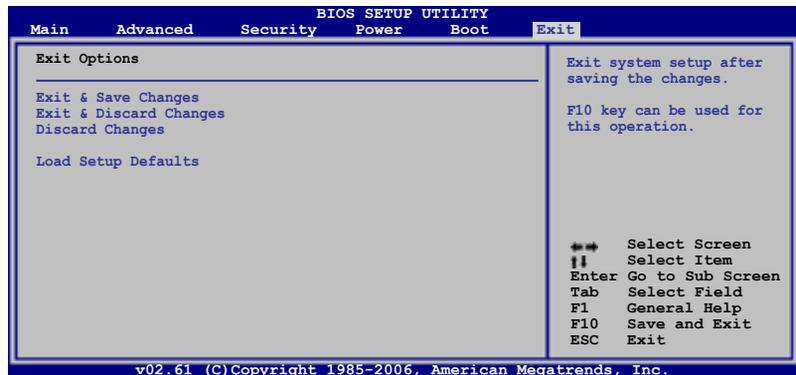
BIOS セットアップでのパスワードのアクセスレベルを選択します。



Save Changes (変更を保存)

設定の変更を保存するには、BIOS から退出する際に変更を保存します。

初期設定値に戻すには、「Load Setup Defaults」を選択します。選択後は、BIOS から退出する際に初期設定値を保存してください。



よく聞かれる問題と解決方法

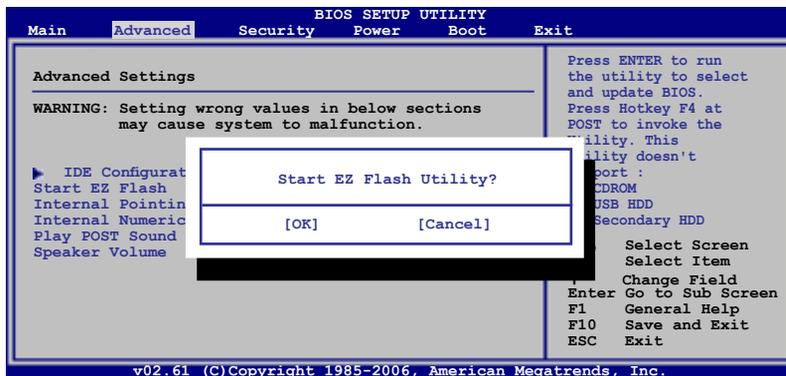
ハードウェアの問題

光学ドライブやキーボード/ホットキー、内蔵カメラ等の動作不良や、システムが不安定になるといったハードウェアの問題については、サポートセンターにご相談ください。

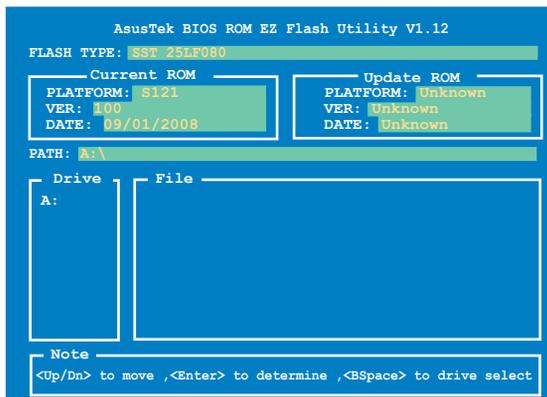
ソフトウェアの問題 - BIOS

BIOSを更新する

1. ノートパソコンのモデルを正確に記録し、ASUSのWeb サイトからお使いのモデルの最新のBIOSファイルをダウンロードし、フラッシュメモリに保存します。(http://www.asus.co.jp)
2. フラッシュメモリを本機に接続し、本機の電源をONにします。
3. BIOSの「Advanced」画面の「Easy Flash」機能でBIOSを更新します。画面に表示される指示に従ってBIOS更新を行ってください。



4. 最新のBIOSファイルの場所を確認し、BIOSを更新/クリアします。



5. BIOS更新が終了したら、必ず Exit メニューの「Load Setup Defaults」オプションを使用し、初期設定値をロードしてください。

よく聞かれる問題と解決方法 (続き)



Norton
Internet
Security



Symantec Norton Internet Security (NIS)

1. NISでローカル IPアドレスから Trojan が検出され警告が表示される

この問題はウイルス定義ファイルを最新のものに更新することで解決します。なお、ウイルス定義ファイルは定期的に更新することをお勧めします。

2. Norton Antivirus をアンインストール後、「Information Wizard」で再インストールできない

コンピュータからNISがアンインストールされていることを確認し、システムを再起動したら再度NISをインストールします。「Live Update」でウイルス定義ファイルを更新します。

3. Web ページがブロックされ開けない、またはダウンロードスピードが遅い

セキュリティ設定を低く設定してください。NISはデータのダウンロード中にウイルススキャンを行うため、ダウンロードのスピードが下がります。

4. MSN/ Yahoo メッセンジャーサービスにログインできない

NISを更新してください。また、Windows システムを「Windows Update」で更新してください。問題が解決しない場合：

1. システムトレイ上にある NIS アイコンをクリックし、NIS 200x を開きます。
2. 「Options (オプション)」メニューの「Norton AntiVirus」を開きます。
3. 「Instant Messenger (インスタントメッセンジャー)」をクリックし、「Which Instant messengers to protect (保護するインスタントメッセンジャー)」から「MSN/Windows Messenger」のチェックを外します。

5. NIS がダメージを受け、再インストールが必要になった場合

NIS は附属のディスクの「NIS200x」フォルダー (x はバージョンナンバー) に入っています。

6. オプション「Start firewall when system is booted (システム起動時にファイアウォールを有効にする)」を選択すると、Windows 起動後ファイアウォールが有効になるまで1分ほどかかり、その間Windows が反応しない

NIS ファイアウォールを設定すると、システムの動作速度は遅くなります。解決するにはこのオプションを無効に設定してください。

7. NIS を使用するとシステムスピードが下がる

NIS を使用するとシステムスピードが下がることが知られています (起動速度と動作速度の両方)。NIS の保護機能を全て使用している場合、全てのデータがスキャン/検出されるため、スピードはさらに遅くなります。改善策としては、システム起動時の自動スキャン機能を無効にするなどがあります。ウイルスのスキャンはコンピュータへの負荷が少ないときに手動で行うことをお勧めします。

8. NISをアンインストールできない

「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」で、「Norton Internet Security 200x (Symantec Corporation)」を探します。「変更と削除」をクリックし、以降は指示に従ってアンインストールしてください。

Windows® XP™ リカバリーソフトウェア (オプション) (Windows® XP™ Home/Professional Editions)

ハードディスクのパーティションを使用する

リカバリーパーティションには、工場出荷時にコンピュータにインストールされたOSイメージ及び各ドライブ、各ユーティリティ等が保存されています。リカバリーパーティションは優れたリカバリーソリューションで、ノートパソコンのソフトウェアを本来の動作状態に復元。また、ハードディスクドライブの動作状態を正常な状態に戻します。この機能を使用する前には必ずデータファイル (Outlook PST ファイルなど) をフロッピーディスクやネットワークドライブなどにコピーし、また各ユーザー設定 (ネットワーク設定等) もバックアップしてください。

リカバリーパーティションを使用する

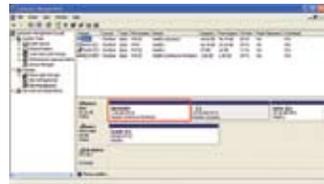
起動中に [F9] キーを押します。

リカバリーパーティションについて

リカバリーパーティションはハードディスクドライブ上に確保されたスペースで、OSや各ドライブ、ユーティリティなどが工場出荷時の状態で保存されています。



重要: 「RECOVERY」という名前のパーティションは削除しないでください。リカバリーパーティションは工場で作成され、一度削除するとユーザーは復元することができません。リカバリー中に問題が発生した場合は、ASUS 公認のサービスセンターまでご連絡ください。



メニューを選択する (60 秒以内) :

1. Recover Windows XP _____ to first partition only.

このオプションは、1つ目のパーティションのみを削除します。他のパーティションはそのまま、新しいシステムパーティション; ドライブ 「C」を作成します。

2. Recover Windows XP _____ to entire HD.

このオプションは、ハードディスクドライブからパーティションを全て削除し、新しいシステムパーティション; ドライブ 「C」を作成します。

3. Recover Windows XP _____ to entire HD with 2 partition.

このオプションは、ハードディスクドライブからパーティションを全て削除し、新しいシステムパーティション「C」(60%)と「D」(40%)を作成します。

リカバリーは画面上の指示に沿って実行してください。



注意: 最新のドライバとユーティリティはASUSのサイト (<http://www.asus.co.jp/>) をご覧ください。

Windows® XP™ リカバリーソフトウェア（続き） （Windows® XP™ Home/Professional Editions）

CDを使用する（特定モデルのみ）

リカバリーCDには、工場出荷時にコンピュータにインストールされたOSイメージ及び各ドライバ、各ユーティリティ等が保存されています。リカバリーCDは優れたリカバリーソリューションで、ノートパソコンのソフトウェアを本来の動作状態に復元します。また、ハードディスクドライブの動作状態を正常な状態に戻します。この機能を使用する前には必ずデータファイル（Outlook PST ファイルなど）をフロッピーディスクやネットワークドライブなどにコピーし、また各ユーザー設定（ネットワーク設定等）もバックアップしてください。

リカバリーCDでのリカバリー手順

1. リカバリーディスクを光学ドライブに入れます。
2. ノートパソコンの電源をオンにします。すでにオンの場合は再起動します。
3. 起動中に <Esc> キーを押し、カーソルで光学ドライブを選択したら、<Enter> キーを押しリカバリーディスクから起動します（または光学ドライブをBIOSで起動デバイスに設定）。
4. メニューを選択する：

1. Recover Windows XP _____ to first partition only.

このオプションは、1つ目のパーティションのみを削除します。他のパーティションはそのまま、新しいシステムパーティション；ドライブ「C」を作成します。

2. Recover Windows XP _____ to entire HD.

このオプションは、ハードディスクドライブからパーティションを全て削除し、新しいシステムパーティション；ドライブ「C」を作成します。

3. Recover Windows XP _____ to entire HD with 2 partition.

このオプションは、ハードディスクドライブからパーティションを全て削除し、新しいシステムパーティション「C」（60%）と「D」（40%）を作成します。

5. リカバリーは画面上の指示に沿って実行してください。数分後ドライバ&ユーティリティDiskを挿入するようにメッセージが表示されます。
6. リカバリーの作業が完了すると自動で電源がシャットダウンします。再度電源をオンにし、Windows の設定を行ってください。
7. Windows Setup は画面上のウィザードに沿って実行してください。



警告：指示があった場合以外は、リカバリー中にリカバリーDiskを絶対に取り出さないでください。コンピュータが使用できなくなります。



注意：最新のドライバとユーティリティはASUSのサイト (<http://www.asus.co.jp/>) をご覧ください。

Declarations and Safety

DVD-ROMドライブ情報

OSの種類によっては、DVDタイトルを表示するには、DVD再生ソフトウェアをインストールする必要があります。本製品にはDVD再生ソフトウェアがインストールされています。またDVD-ROMドライブでは、CDとDVDディスクのどちらも使用することができます。

地域再生情報

DVDムービータイトルの再生には、MPEGビデオの復号、デジタルオーディオ、CSS保護されたコンテンツの復号化が含まれます。CSS（コピーガードと呼ばれることもある）は動画産業が採用したコンテンツ保護計画の名称で、違法コピーを防ぐものです。

CSSライセンスに課された設計規則はたくさんありますが、もっとも適切な規則の一つは、地域化されたコンテンツに関する再生の制限です。場所によって異なるムービーのリリースを円滑にするために、DVDビデオタイトルは下の「地域定義」で定義された特定の地域に対してリリースされています。著作権法は、全てのDVDムービーを特定の地域（普通、販売されている地域に対してコード化されている）に限定するよう要求しており、DVDムービーコンテンツは、複数の地域でリリースされるので、CSSの設計規則はCSSで暗号化されたコンテンツを再生できるどのシステムも、一つの地域でしか再生できないようになっています。



注：地域設定は再生ソフトウェアを使用して、5回まで変更することができます。5回変更後は、DVDムービーは最後の地域設定に対してのみ再生することができます。

地域定義

地域1

カナダ、米国、米国の領土

地域2

日本、チェコ、エジプト、フィンランド、フランス、ドイツ、ペルシア湾岸諸国、ハンガリー、アイスランド、イラン、イラク、アイルランド、イタリア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、サウジアラビア、スコットランド、南アフリカ、スペイン、スウェーデン、スイス、シリア、トルコ、イギリス、ギリシア、前ユーゴスラビア共和国、スロバキア

地域3

ビルマ、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム

地域4

オーストラリア、西インド諸島（米国領土を除く）、中央アメリカ、ニュージーランド、太平洋諸島、南アメリカ大陸

地域5

CIS、インド、パキスタン、その他のアフリカ諸国、ロシア、朝鮮民主主義人民共和国

地域6

中国

□ 内蔵モデムの適応規格(規格/プロトコルなど原文掲載)

The Notebook PC with internal modem model complies with JATE (Japan), FCC (US, Canada, Korea, Taiwan), and CTR21. The internal modem has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point. In the event of problems you should contact your equipment supplier in the first instance.

Overview

On 4th August 1998 the European Council Decision regarding the CTR 21 has been published in the Official Journal of the EC. The CTR 21 applies to all non voice terminal equipment with DTMF-dialling which is intended to be connected to the analogue PSTN (Public Switched Telephone Network).

CTR 21 (Common Technical Regulation) for the attachment requirements for connection to the analogue public switched telephone networks of terminal equipment (excluding terminal equipment supporting the voice telephony justified case service) in which network addressing, if provided, is by means of dual tone multifrequency signalling.

Network Compatibility Declaration

Statement to be made by the manufacturer to the Notified Body and the vendor: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties"

Network Compatibility Declaration

Statement to be made by the manufacturer to the user: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties. The manufacturer shall also associate a statement to make it clear where network compatibility is dependent on physical and software switch settings. It will also advise the user to contact the vendor if it is desired to use the equipment on another network."

Up to now the Notified Body of CETECOM issued several pan-European approvals using CTR 21. The results are Europe's first modems which do not require regulatory approvals in each individual European country.

Non-Voice Equipment

Answering machines and loud-speaking telephones can be eligible as well as modems, fax machines, auto-dialers and alarm systems. Equipment in which the end-to-end quality of speech is controlled by regulations (e.g. handset telephones and in some countries also cordless telephones) is excluded.

□ 内蔵モデムの適応規格 (続き)

This table shows the countries currently under the CTR21 standard.

<u>Country</u>	<u>Applied</u>	<u>More Testing</u>
Austria ¹	Yes	No
Belgium	Yes	No
Czech Republic	No	Not Applicable
Denmark ¹	Yes	Yes
Finland	Yes	No
France	Yes	No
Germany	Yes	No
Greece	Yes	No
Hungary	No	Not Applicable
Iceland	Yes	No
Ireland	Yes	No
Italy	Still Pending	Still Pending
Israel	No	No
Lichtenstein	Yes	No
Luxemburg	Yes	No
The Netherlands ¹	Yes	Yes
Norway	Yes	No
Poland	No	Not Applicable
Portugal	No	Not Applicable
Spain	No	Not Applicable
Sweden	Yes	No
Switzerland	Yes	No
United Kingdom	Yes	No

This information was copied from CETECOM and is supplied without liability. For updates to this table, you may visit http://www.cetecom.de/technologies/ctr_21.html

¹ National requirements will apply only if the equipment may use pulse dialling (manufacturers may state in the user guide that the equipment is only intended to support DTMF signalling, which would make any additional testing superfluous).

In The Netherlands additional testing is required for series connection and caller ID facilities.

FC Federal Communications Commission Statement

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



WARNING! The use of a shielded-type power cord is required in order to meet FCC emission limits and to prevent interference to the nearby radio and television reception. It is essential that only the supplied power cord be used. Use only shielded cables to connect I/O devices to this equipment. You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void your authority to operate the equipment.

(Reprinted from the Code of Federal Regulations #47, part 15.193, 1993. Washington DC: Office of the Federal Register, National Archives and Records Administration, U.S. Government Printing Office.)

FC FCC Radio Frequency Interference Requirements

This device is restricted to INDOOR USE due to its operation in the 5.15 to 5.25GHz frequency range. FCC requires this product to be used indoors for the frequency range 5.15 to 5.25GHz to reduce the potential for harmful interference to co-channel of the Mobile Satellite Systems.

High power radars are allocated as primary user of the 5.25 to 5.35GHz and 5.65 to 5.85GHz bands. These radar stations can cause interference with and / or damage this device.



IMPORTANT! This device and its antenna(s) must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

FC FCC Radio Frequency (RF) Exposure Caution Statement

This equipment complies with FCC RF exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with FCC RF exposure compliance requirements, please follow operation instructions in the user's manual. This equipment is for operation within 5.15 GHz and 5.25GHz frequency ranges and is restricted to indoor environments only.



FCC Caution: Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment. "The manufacturer declares that this device is limited to Channels 1 through 11 in the 2.4GHz frequency by specified firmware controlled in the USA."

FCC RF Exposure Guidelines (Wireless Clients)

This device has been tested for compliance with FCC RF Exposure (SAR) limits in typical portable configurations. In order to comply with SAR limits established in the ANSI C95.1 standards, it is recommended when using a wireless LAN adapter that the integrated antenna is positioned more than [20cm] from your body or nearby persons during extended periods of operation. If the antenna is positioned less than [20cm] from the user, it is recommended that the user limit the exposure time.

R&TTE Directive (1999/5/EC)

The following items were completed and are considered relevant and sufficient for the R&TTE (Radio & Telecommunications Terminal Equipment) directive:

- Essential requirements as in [Article 3]
- Protection requirements for health and safety as in [Article 3.1a]
- Testing for electric safety according to [EN 60950]
- Protection requirements for electromagnetic compatibility in [Article 3.1b]
- Testing for electromagnetic compatibility in [EN 301 489-1] & [EN 301]
- Testing according to [489-17]
- Effective use of the radio spectrum as in [Article 3.2]
- Radio test suites according to [EN 300 328-2]

CE CE Mark Warning

This is a Class B product, in a domestic environment, this product may cause radio interference, in which case the user may be required to take adequate measures.

Wireless Operation Channel for Different Domains

N. America	2.412-2.462 GHz	Ch01 through CH11
Japan	2.412-2.484 GHz	Ch01 through Ch14
Europe ETSI	2.412-2.472 GHz	Ch01 through Ch13

France Restricted Wireless Frequency Bands

Some areas of France have a restricted frequency band. The worst case maximum authorized power indoors are:

- 10mW for the entire 2.4 GHz band (2400 MHz–2483.5 MHz)
- 100mW for frequencies between 2446.5 MHz and 2483.5 MHz



Channels 10 through 13 inclusive operate in the band 2446.6 MHz to 2483.5 MHz.

There are few possibilities for outdoor use: On private property or on the private property of public persons, use is subject to a preliminary authorization procedure by the Ministry of Defense, with maximum authorized power of 100mW in the 2446.5–2483.5 MHz band. Use outdoors on public property is not permitted.

In the departments listed below, for the entire 2.4 GHz band:

- Maximum authorized power indoors is 100mW
- Maximum authorized power outdoors is 10mW

Departments in which the use of the 2400–2483.5 MHz band is permitted with an EIRP of less than 100mW indoors and less than 10mW outdoors:

01 Ain Orientales	02 Aisne	03 Allier	05 Hautes Alpes
08 Ardennes	09 Ariège	11 Aude	12 Aveyron
16 Charente	24 Dordogne	25 Doubs	26 Drôme
32 Gers	36 Indre	37 Indre et Loire	41 Loir et Cher
45 Loiret	50 Manche	55 Meuse	58 Nièvre
59 Nord	60 Oise	61 Orne	63 Puy du Dôme
64 Pyrénées Atlantique	66 Pyrénées	67 Bas Rhin	68 Haut Rhin
70 Haute Saône	71 Saône et Loire	75 Paris	82 Tarn et Garonne
84 Vaucluse	88 Vosges	89 Yonne	90 Territoire de Belfort
94 Val de Marne			

This requirement is likely to change over time, allowing you to use your wireless LAN card in more areas within France. Please check with ART for the latest information (www.art-tel-ecom.fr)



Your WLAN Card transmits less than 100mW, but more than 10mW.

UL Safety Notices

Required for UL 1459 covering telecommunications (telephone) equipment intended to be electrically connected to a telecommunication network that has an operating voltage to ground that does not exceed 200V peak, 300V peak-to-peak, and 105V rms, and installed or used in accordance with the National Electrical Code (NFPA 70).

When using the Notebook PC modem, basic safety precautions should always be followed to reduce the risk of fire, electric shock, and injury to persons, including the following:

- **Do not use** the Notebook PC near water, for example, near a bath tub, wash bowl, kitchen sink or laundry tub, in a wet basement or near a swimming pool.
- **Do not use** the Notebook PC during an electrical storm. There may be a remote risk of electric shock from lightning.
- **Do not use** the Notebook PC in the vicinity of a gas leak.

Required for UL 1642 covering primary (non-rechargeable) and secondary (rechargeable) lithium batteries for use as power sources in products. These batteries contain metallic lithium, or a lithium alloy, or a lithium ion, and may consist of a single electrochemical cell or two or more cells connected in series, parallel, or both, that convert chemical energy into electrical energy by an irreversible or reversible chemical reaction.

- **Do not** dispose the Notebook PC battery pack in a fire, as they may explode. Check with local codes for possible special disposal instructions to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion.
- **Do not** use power adapters or batteries from other devices to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion. Use only UL certified power adapters or batteries supplied by the manufacturer or authorized retailers.



Power Safety Requirement

Products with electrical current ratings up to 6A and weighing more than 3Kg must use approved power cords greater than or equal to: H05VV-F, 3G, 0.75mm² or H05VV-F, 2G, 0.75mm².

電気・電子機器に含有される化学物質の表示について



資源有効利用促進法では、JIS C 0950: 2008 (J-Moss) の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されます。

この規格に関する詳細情報はASUSのサイト (<http://green.asus.com/english/>) に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」をご参照ください。

Nordic Lithium Cautions (リチウムバッテリーについて)



CAUTION! Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions. (English)



ATTENZIONE! Rischio di esplosione della batteria se sostituita in modo errato. Sostituire la batteria con un una di tipo uguale o equivalente consigliata dalla fabbrica. Non disperdere le batterie nell'ambiente. (Italian)



VORSICHT! Explosionsgefahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers. (German)



ADVARSELI! Lithiumbatteri - Eksplosionsfare ved fejlagtig håndtering. Udskiftning må kun ske med batteri af samme fabrikat og type. Levér det brugte batteri tilbage til leverandøren. (Danish)



WARNING! Explosionsfara vid felaktigt batteribyte. Använd samma batterityp eller en ekvivalent typ som rekommenderas av apparatillverkaren. Kassera använt batteri enligt fabrikantens instruktion. (Swedish)



VAROITUS! Paristo voi räjähtää, jos se on virheellisesti asennettu. Vaihda paristo ainoastaan laitevalmistajan suositteluun tyypin. Hävitä käytetty paristo valmistajan ohjeiden mukaisesti. (Finnish)



ATTENTION! Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur. Mettre au rebut les batteries usagées conformément aux instructions du fabricant. (French)



ADVARSELI! Eksplosjonsfare ved feilaktig skifte av batteri. Benytt samme batteritype eller en tilsvarende type anbefalt av apparatfabrikanten. Brukte batterier kasseres i henhold til fabrikantens instruksjoner. (Norwegian)



注意: バッテリーの交換は正しく行ってください。破裂する危険があります。交換の際は、メーカーが指定したバッテリーをお使いください。また、廃棄の際は家庭ゴミとまとめて捨てずに、最寄の廃棄物処理施設等に問い合わせ、バッテリーの処分方法を確認してください。(Japanese)



重要: モデルにより、ノートパソコンのディスプレイパネルで使用されているコンポーネントが水銀を含む場合があります。廃棄の際は、地方自治体の廃棄処理に関する条例または規則等に從って下さい。

Optical Drive Safety Information

Laser Safety Information

Internal or external optical drives sold with this Notebook PC contains a CLASS 1 LASER PRODUCT. Laser classifications can be found in the glossary at the end of this user's manual.



WARNING: Making adjustments or performing procedures other than those specified in the user's manual may result in hazardous laser exposure. Do not attempt to disassemble the optical drive. For your safety, have the optical drive serviced only by an authorized service provider.

Service warning label



CAUTION! INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. DO NOT STARE INTO BEAM OR VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS.

CDRH Regulations

The Center for Devices and Radiological Health (CDRH) of the U.S. Food and Drug Administration implemented regulations for laser products on August 2, 1976. These regulations apply to laser products manufactured from August 1, 1976. Compliance is mandatory for products marketed in the United States.



WARNING: Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein or in the laser product installation guide may result in hazardous radiation exposure.

Macrovision Corporation Product Notice

This product incorporates copyright protection technology that is protected by method claims of certain U.S.A. patents and other intellectual property rights owned by Macrovision Corporation and other rights owners. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision Corporation, and is intended for home and other limited viewing uses only *unless otherwise authorized by Macrovision Corporation*. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

CTR 21 Approval (モデム内蔵型ノートパソコン)



Danish

•Udstyret er i henhold til Rådets beslutning 98/482/EF EU-godkendt til at blive opkoblet på de offentlige telefonnet som enkeltforbundet terminal. På grund af forskelle mellem de offentlige telefonnet i de forskellige lande giver godkendelsen dog ikke i sig selv ubetinget garanti for, at udstyret kan fungere korrekt på samtlige nettermineringspunkter på de offentlige telefonnet.

I tilfælde af problemer bør De i første omgang henvende Dem til leverandøren af udstyret.



Dutch

„Dit apparaat is goedgekeurd volgens Beschikking 98/482/EG van de Raad voor de pan-Europese aansluiting van enkelvoudige eindapparatuur op het openbare geschakelde telefoonnetwerk (PSTN). Gezien de verschillen tussen de individuele PSTN's in de verschillende landen, biedt deze goedkeuring op zichzelf geen onvoorwaardelijke garantie voor een succesvolle werking op elk PSTN-netwerk aansluitpunt.

Neem bij problemen in eerste instantie contact op met de leverancier van het apparaat.



English

The equipment has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTN's provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.



French

•Cet équipement a reçu l'agrément, conformément à la décision 98/482/CE du Conseil, concernant la connexion paneuropéenne de terminal unique aux réseaux téléphoniques publics commutés (RTPC). Toutefois, comme il existe des différences d'un pays à l'autre entre les RTPC, l'agrément en soi ne constitue pas une garantie absolue de fonctionnement optimal à chaque point de terminaison du réseau RTPC.

En cas de problème, vous devez contacter en premier lieu votre fournisseur.



German

„Dieses Gerät wurde gemäß der Entscheidung 98/482/EG des Rates europaweit zur Anschaltung als einzelne Endeinrichtung an das öffentliche Fernsprechnet zugelassen. Aufgrund der zwischen den öffentlichen Fernsprechnetzen verschiedener Staaten bestehenden Unterschiede stellt diese Zulassung an sich jedoch keine unbedingte Gewähr für einen erfolgreichen Betrieb des Geräts an jedem Netzabschlusspunkt dar.

Falls beim Betrieb Probleme auftreten, sollten Sie sich zunächst an Ihren Fachhändler wenden.“



Italian

•La presente apparecchiatura terminale è stata approvata in conformità della decisione 98/482/CE del Consiglio per la connessione paneuropea come terminale singolo ad una rete analogica PSTN. A causa delle differenze tra le reti dei differenti paesi, l'approvazione non garantisce però di per sé il funzionamento corretto in tutti i punti di terminazione di rete PSTN.

In caso di problemi contattare in primo luogo il fornitore del prodotto.



Portuguese

•Este equipamento foi aprovado para ligação pan-europeia de um único terminal à rede telefónica pública comutada (RTPC) nos termos da Decisão 98/482/CE. No entanto, devido às diferenças existentes entre as RTPC dos diversos países, a aprovação não garante incondicionalmente, por si só, um funcionamento correcto em todos os pontos terminais da rede da RTPC.

Em caso de problemas, deve entrar-se em contacto, em primeiro lugar, com o fornecedor do equipamento.



Spanish

•Este equipo ha sido homologado de conformidad con la Decisión 98/482/CE del Consejo para la conexión paneuropea de un terminal simple a la red telefónica pública conmutada (RTPC). No obstante, a la vista de las diferencias que existen entre las RTPC que se ofrecen en diferentes países, la homologación no constituye por sí sola una garantía incondicional de funcionamiento satisfactorio en todos los puntos de terminación de la red de una RTPC.

En caso de surgir algún problema, procede ponerse en contacto en primer lugar con el proveedor del equipo.



Japanese Notice

本装置は、第二種情報装置(住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置)で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。

しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に、近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。本書の説明にしたがって正しい取り扱いをしてください。

Japanese Modem Notice

本製品を日本で使用する場合は必ず日本国モードでご使用ください。他国のモードをご使用になると電気通信事業法(技術基準)に違反する行為となります。なお、ご購入時は初期値が日本国モードとなっておりますので、そのままご利用ください。

② オーナー情報

テクニカルサポートを受けるときの参照用にパソコンの情報を記録しておいてください。なお、本項にパスワードを記入された場合は、本書の保管場所、取り扱いに十分ご注意ください。

名前: _____ 電話番号: _____
製造元: _____ モデル: _____ シリアルナンバー: _____
ディスプレイサイズ: _____ 解像度: _____ メモリサイズ: _____
販売店: _____ 支店名: _____ 購入日: _____
ハードディスクメーカー: _____ 容量: _____
光学ドライブメーカー: _____ タイプ: _____
BIOSバージョン: _____ 日付: _____
アクセサリ: _____
アクセサリ: _____

🌐 ソフトウェア

OS: _____ バージョン: _____ シリアルナンバー: _____
Software: _____ バージョン: _____ シリアルナンバー: _____
Software: _____ バージョン: _____ シリアルナンバー: _____

🔑 セキュリティ

管理者名: _____ 管理者パスワード: _____
ユーザー名: _____ ユーザーパスワード: _____

🌐 ネットワーク

ユーザー名: _____ パスワード: _____ ドメイン: _____
ユーザー名: _____ パスワード: _____ ドメイン: _____

Copyright について

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容について、ASUSは責任を負いません。

Copyright © 2009 ASUSTeK Computer, Inc. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作为または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

- (1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
- (2) ユーザーの個人情報やデータの損失
- (3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトを開設しました。下のリンクで「Language」から「Japanese」を選択してください。

<http://support.asus.com>